

平成23年度

—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—

# 豊かな環境づくり大阪行動計画

平成23年6月

豊かな環境づくり大阪府民会議

はじめに  
～ 計画の背景と構成 ～

1992年（平成4年）6月に、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで「環境と開発に関する国連会議（地球サミット）」が開催され、人類が21世紀に向けて持続可能な発展をめざす行動計画である「アジェンダ21」が採択されました。その中では、各地方自治体において、当該地域住民が主体の地球環境保全に向けた行動計画である「ローカルアジェンダ21」の策定が求められています。

大阪府では「人のこころがかよいあう豊かな環境の保全と創造」をめざして、平成6年3月に「大阪府環境基本条例」を制定するとともに、同年11月に「豊かな環境づくり大阪府民会議」を発足いたしました。

府民会議では、平成7年6月に「地球環境保全行動指針—身近な環境 愛する心と行動が地球環境を守る」を策定するとともに、平成8年6月には、実践活動を具体的に推進するため、「豊かな環境づくり大阪行動計画—地球環境を守る大阪府民のローカルアジェンダ21—」を策定しました。この「行動計画」では、府民会議構成団体の具体的な実践活動を体系化するとともに、情報交流や活動を奨励・支援する事業を盛り込み、年度毎の計画の点検・更新を定めています。

今年度の行動計画については、昨年度に引き続き、「低炭素社会への転換」、「循環型社会の構築」、「自然と調和したまちづくり」の3つの共通テーマを掲げて、豊かな環境づくりを進めてまいります。

共通テーマに基づき府民会議が主体となって取り組む重点行動のテーマとして、昨年度に引き続き、「家庭や学校・職場における低炭素社会に向けた実践行動の推進」を掲げ、様々な事業を通じて、低炭素社会に向けた府民の意識啓発等に努めてまいります。中でも、今年は東日本大震災の影響により節電に対する社会的機運が高まっていることから、大阪府内において積極的に節電に取り組んでいる店舗を紹介する「節電チャレンジSHOP」事業を新規に実施するなど、節電に焦点を当てた取組みを展開してまいります。

また、共通テーマに沿って、府民会議構成団体が取り組む重点行動（30項目）を設定しており、豊かな環境の保全と創造のために、府民会議の各構成団体においても自主的に様々な取組みを進めてまいります。各構成団体においても、大阪府民や事業者に対する節電方法の周知・啓発活動など、節電に関する取組みを実施してまいります。

# 目 次

## 【本 編】

### 第1章 基本理念・目標

|                        |   |
|------------------------|---|
| 1 平成23年度の府民会議の活動方針について | 1 |
|------------------------|---|

### 第2章 実践活動

|                       |    |
|-----------------------|----|
| 1 平成23年度の府民会議主体の実践活動  | 3  |
| 2 平成22年度の府民会議主体の活動の報告 | 6  |
| 3 府民会議構成団体の活動         | 15 |

## 【資料編】

|                        |    |
|------------------------|----|
| 地球環境保全行動指針             | 38 |
| 大阪21世紀の新環境総合計画（概要）     | 48 |
| 大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況 | 50 |
| 豊かな環境づくり大阪府民会議規約       | 64 |
| 豊かな環境づくり大阪府民会議委員名簿     | 65 |
| 豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先 | 67 |
| 豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過    | 69 |
| かんきょう交流Roomのご案内        | 74 |

# 【本編】

# 第1章 基本理念・目標

## 1 平成23年度の府民会議の活動方針について

都市・生活型公害や地球環境問題など、社会経済システムやライフスタイルに起因する今日の環境問題を解決するためには、府民、事業者、行政がそれぞれの立場に応じて豊かな環境の保全と創造に資する自主的な活動に主体的に取り組むことが重要となっています。

このため、豊かな環境づくり大阪府民会議では、年度ごとに行動計画を策定して、豊かな環境づくりに向けた行動を方向づけるとともに、①調整・連携する、②意見交換する、③創造する、といった「3つのC」（※下記参照）の役割を担うことにより、各主体の自覚による豊かな環境づくりに向けた行動が定着した社会の実現を目指しています。

※「3つのC」とは

|                       |         |
|-----------------------|---------|
| C o o r d i n a t e   | 調整・連携する |
| C o m m u n i c a t e | 意見交換する  |
| C r e a t e           | 創造する    |

また、豊かな環境づくり大阪府民会議では、環境問題などの解決に向けて、構成団体が共通認識のもとに、効果的に取り組みを進めていくため、特に取り組む課題として“共通テーマ”を掲げ、その共通テーマの実現に向けた具体的な行動として、府民会議構成団体が協働して取り組む“重点行動”を設定しています。

“共通テーマ”は、基本理念に基づいて、①環境をめぐる社会的状況から行動を起こしていく必要性、緊急性が認められるもの、②行動の輪を府民、事業者に広げていくことが求められるもの、③府民会議の構成団体が共通認識のもとに具体的な行動を独自におこしていくことが可能なもの、という3つの観点から設定しています。

そして、共通テーマの実現に向けた具体的な取組みとして、“重点行動”（30項目）を設定し、府民会議構成団体が率先して取り組むとともに、広く府民に対して啓発普及を図っています。

また、府民会議が主体となって取り組んだ場合に効果が大きいと思われるものに焦点をあて、「府民会議が主体となって取り組む重点行動」として関連する事業を展開しています。

# 豊かな環境づくり大阪行動宣言

—地球環境保全行動指針に基づき、豊かな環境づくりに向けて行動を起こすことを宣言します。—

身近な環境を歩いて、見て、感じ、私たちの環境がどのようなものであればよいかを考え、自らの日々の活動との関わりを見つめて、行動目標を定めます。

豊かな環境づくりに向けた行動目標の実現を目指し、具体的な実践活動に取り組むとともに、行動の輪を府民、事業者に広げていきます。

行動した結果を点検するとともに、情報交流や環境学習などを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動がより創意工夫に富んだものに改善されるよう努めます。

## 基本理念

### 環境に配慮した暮らし・事業活動

大阪における高度な経済活動・都市活動は、地域の環境はもとより、地球環境に対しても重大な影響を与えています。

私たちの日常生活様式や事業活動が、環境に影響を与えていることを十分認識し、資源・エネルギーの消費を抑制するとともに、循環的な利用の徹底等によって、環境への負荷を低減するため、行動します。

### 自然と共生する社会づくり

自然は、生態系の保全、都市の気候緩和、憩い・やすらぎの場の提供など、様々な恵みを私たちに与えてくれています。

自然の一員である私たちは、自らの命・生活・心のよりどころである自然を地球的な視野にたって守り育て、自然と人が共生する社会づくりに向けて、行動します。

### ゆとりと潤いのある 美しいまちづくり

大阪では、新たな交流の時代を迎えて、生活環境の質を高め、世界都市にふさわしい魅力と個性、風格を備えたまちづくりが求められています。

豊かで潤いのある緑や水辺の空間を確保し、美しい景観を創造するとともに、歴史的・文化的遺産が保全・活用された大阪らしい文化の香りあふれるまちを形成するため、行動します。

## 平成23年度 共通テーマ

### 低炭素社会への転換

前年度に引き続き、化石エネルギー依存から脱却し、地球温暖化の主因である二酸化炭素の排出抑制を徹底する“低炭素社会”への転換を図るため、ビジネススタイルやライフスタイルの変革に繋がる取組みを進めていきます。

### 循環型社会の構築

前年度に引き続き、廃棄物の発生抑制や資源の循環的な利用等により、天然資源の消費を抑制し、環境への負荷をできる限り低減するため、一人ひとりのライフスタイルや社会経済活動の転換に向けた取組みを進めていきます。

### 自然と調和したまちづくり

前年度に引き続き、都市化が進んだ大阪において、各主体の協働のもと、身近な自然環境を保全・再生し、豊かな水辺環境やみどりなどの空間を確保することによって、生物の多様性が保たれ、ヒートアイランド現象が緩和される、自然と調和した地域づくりに向けた取組みを進めていきます。

## 府民会議構成団体に取り組む30の重点行動

### I グリーン購入の推進

- 1 エコマーク商品や大阪府認定リサイクル製品など環境にやさしい商品優先的に購入する。
- 2 トレイ容器を使用しない商品や詰め替え商品、はかり売り商品などを選ぶ。
- 3 買い物にはマイバックを持参し、レジ袋を受け取らない。
- 4 職場などで使用する事務用品等のグリーン購入を徹底する。
- 5 環境にやさしい商品の開発、販売や環境ラベリングの表示を促進する。

### II ごみ減量化・リサイクルの推進

- 6 簡易包装の徹底や、古着・中古品等のリユースにより、ごみの発生を抑制する。
- 7 分別を徹底し、集団回収や店頭回収、市町村の分別収集に協力する。
- 8 家電リサイクル大阪方式を活用し、廃家電品のリサイクルを推進する。
- 9 職場での紙の使用量削減やリサイクルに取り組む。
- 10 イベントの実施にあたってはごみの排出を抑制し、ごみの持ち帰り、分別等を徹底する。

### III 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進

- 11 家庭や学校・職場での照明やOA機器等のこまめなスイッチオフを徹底する。
- 12 未使用時の電気製品は主電源を切り、待機電力の消費量を減らす。
- 13 水の大切さを認識し節水を徹底する。
- 14 冷暖房の適正な温度設定を徹底する。
- 15 買い替え時には省エネ性能の高い家電製品や給湯器等を選択する。
- 16 建物への太陽光発電等の新エネ設備の導入や高断熱化を推進する。

#### 【実施方法】

- ①府民会議各構成団体は重点行動メニューの中から実施する行動を1つないし複数選択し、それに基づく取組みを決め、下部組織にも取組みを呼びかけます。
- ②後日、府民会議全体での実施状況を把握します。

### IV 自動車使用の見直し・エコドライブの推進

- 17 公共交通機関や自転車・徒歩を利用し、不要不急の自動車使用を自粛する。
- 18 ふんわりアクセル発進、減速時の早めのアクセルオフ、不要なアイドリングの停止等を徹底する。
- 19 タイヤの空気圧チェックなど、車の整備・点検を徹底する。
- 20 買い替え時にはハイブリッド車や超低燃費車等の環境に配慮した車を購入する。
- 21 イベントの実施にあたっては、公共交通機関を優先した来場経路の確保に努める。

### V 自然環境の保全とふれあいの推進

- 22 身近な自然を見つめなおして、自然の大切さを考える。
- 23 野鳥や植物などの観察会等を通じ、自然とふれあう機会を増やす。
- 24 森林や里山などの自然保全活動を推進する。
- 25 河川や海岸の美化・清掃活動などへ積極的に参加する。
- 26 自然の中で行う行事や活動では不必要な草木の採取や自然を破壊しないことを徹底する。
- 27 農産物や水産物の地産地消や農業体験等を通じ、いのちを育む農空間や海の重要性を考える。

### VI 緑化の推進

- 28 花や草木の栽培、生垣の設置など身近な場所での緑化を推進する。
- 29 地域の緑化や植樹活動等に積極的に参加する。
- 30 建物・工場などの屋上・壁面や敷地内の緑化を推進する。

## 府民会議が主体となって取り組む重点行動

### 「家庭や学校・職場における低炭素社会に向けた実践行動の推進」

※ 今年も、中でも節電に焦点を当てた取組みを推進します。

平成23年度 府民会議主体の実践活動  
⇒ 3頁～5頁参照

平成23年度 構成団体の活動  
⇒ 15頁～37頁参照

### 平成23年度 構成団体の活動目標 (URL)

<http://www.pref.osaka.jp/chi/kyukankyo/room/keikaku.html> に掲載

検索キーワード「かんきょう交流ルーム」で検索し、「府民会議の取り組み」→「豊かな環境づくり大阪計画」→「平成23年度の構成団体の活動目標」を参照

## 第2章 実践活動

### 1 平成23年度の府民会議主体の実践活動

大阪府域においては、家庭や職場における二酸化炭素の排出量が大幅に増加していることから、府民会議では、二酸化炭素の排出抑制を徹底する低炭素社会への転換に向けて、家庭や学校・職場において、ビジネススタイルやライフスタイルの変革につながるエコアクションの取組みを実施していきます。

今年は東日本大震災の影響により節電に対する社会的機運が高まっていることから、府民会議においても、「おおさか節電チャレンジSHOP」事業をはじめ、節電に焦点を当てた取組みを実施していきます。

(参照) 府民会議のホームページ “かんきょう交流Room”

<http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/index.html>

#### (1) 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業の実施

|     |   |
|-----|---|
| 趣旨  | 大阪府内において、積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている府民に身近な店舗を募集し、『おおさか節電チャレンジSHOP』として、店舗ごとの節電の取組みや節電実績等の情報を、府民会議ホームページで情報発信し、広く府民にPRします。<br>また、期間を定めて、“『おおさか節電チャレンジSHOP』へGO!” キャンペーンを実施し、府民会議構成団体の会員等が実際に各店舗を訪問取材した内容を情報発信して、店舗イメージの向上と府民への節電・省エネに向けた啓発と行動に繋げていきます。 |
| 期間  | 募集受付：平成23年7月、HP掲載：平成23年7月～、<br>キャンペーン：平成23年8月～9月  |
| 内容等 | ・積極的な創意工夫により節電の取組みを行っている店舗を公募し、「おおさか節電チャレンジSHOP」として府民会議ホームページで紹介します。<br>・平成23年8月～9月のキャンペーン期間中に、各店舗の取組みを府民会議構成団体の会員が訪問取材し、その取材内容や感想を府民会議ホームページに掲載するとともに、店舗側にその結果をフィードバックします。   |

#### (2) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

|     |   |
|-----|---|
| 趣旨  | 「家庭や学校・職場で実践! CO <sub>2</sub> を減らす術」をテーマに、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品を府民会議ホームページに掲載して、好みのデザインの作品を閲覧した誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより、環境に関する啓発を行います。   |
| 期間  | 募集：平成23年6月～8月、HP掲載：平成23年9月～、表彰：平成24年3月  |
| 内容等 | ・「家庭や学校・職場で実践! CO <sub>2</sub> を減らす術」をテーマに、構成団体の会員や府民などからパソコンの壁紙作品を募集します。<br>・応募作品を府民会議ホームページに掲載し、優れたデザインの作品については府民会議で選考のうえ表彰します。<br>(参照) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/collection_gallery.html">http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/collection_gallery.html</a> |

(3) 「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 環境省、グリーン購入ネットワーク、大阪府と共催で、グリーン購入についての理解を深め、その促進を啓発するセミナーを開催します。   |
| 時期  | 平成23年秋～冬季  |
| 内容等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基調講演や事例発表などを内容とするセミナーを開催します。</li> <li>・開催に合わせて府民会議や構成団体の活動を紹介できるよう工夫します。</li> <li>・府民会議のネットワークを生かして広く参加者を募ります。</li> </ul> (参照) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/seminar.html">http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/seminar.html</a> |

(4) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 日常の買い物において身近に行えるグリーン購入の実践を通じて、府民や事業者が環境との関わりを深く認識し、環境に配慮した生活や経済活動を実践するための契機とすることを目的に、府民会議構成団体の協力のもと、より多くの店舗・業種に参加を呼びかけ実施します。   |
| 期間  | 平成23年10月1日～10月31日  |
| 内容等 | 府内の事業者（参加各店舗）等に対し、特に次の取り組みを働きかけます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーンポスター等の掲示による消費者への啓発</li> <li>・「環境に配慮した商品」の販売や、「はかり売り」「はだか売り」の実施</li> <li>・簡易包装の実施、買い物袋持参の奨励 など</li> </ul> (参照) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/kai-mono.html">http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/kai-mono.html</a> |

(5) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 府民会議や構成団体の活動を府民等に対して広報するために、電子広報誌「かんきょう夢ひろば」を発行し、イベント情報等の発信を行います。  |
| 期間  | 年4回程度  |
| 内容等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ上に掲載する形で発行します。</li> </ul> (参考) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/hi-roba-back.html">http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/hi-roba-back.html</a> |

(6) ライトダウンキャンペーンへの参加

|     |   |
|-----|---|
| 趣旨  | 環境省の提唱のもと、日頃いかに照明を使用しているかを実感し、地球温暖化対策の実践の動機付けとするため、ライトアップ施設や家庭・職場の照明を消すように呼びかけるキャンペーンに参加します。  |
| 期間  | 平成23年6月22日～8月31日  |
| 内容等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンペーンへの参加（環境省の専用サイトで登録）について、府民会議構成団体への周知を図り、積極的な登録を促します。</li> <li>・特別実施日である夏至（6月22日）の「夏至ライトダウン」と、七夕（7月7日：クールアースデー）の「七夕ライトダウン」について、府民会議構成団体の参加状況やCO<sub>2</sub>削減量等を取りまとめ、ホームページで公表します。</li> </ul> (参考) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/lightdown.html">http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/lightdown.html</a> |

(7) 「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みへの参加

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 関西広域連合の提唱のもと、事務所・会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。                         |
| 期間  | 平成23年6月1日～9月30日とその前後1ヶ月程度  |
| 内容等 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適正冷房の徹底や軽装の奨励について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。</li> </ul> |



(8) 「ウォームビズ」の取組みへの参加

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 環境省の提唱のもと、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（自治体 19℃、民間 20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図ることを目的に実施される取組みに参加します。  |
| 期間  | 平成23年11月1日～平成24年3月31日  |
| 内容等 | ・適正暖房の徹底について、府民会議構成団体への周知を図り、構成団体の会員等に対して取組みへの積極的な参加を促します。<br>・府民会議構成団体のキャンペーンへの参加状況を取りまとめ、ホームページで公表します。<br>(参考) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/warmbiz.html">http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/warmbiz.html</a> |

(9) 省エネラベルキャンペーン（夏、秋冬）の周知等

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 家庭からのCO <sub>2</sub> 排出量を削減するため、省エネ情報を提供する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭への省エネ型家電製品の導入を促進する目的で、大阪省エネラベルキャンペーン実行委員会が実施しているキャンペーンの周知等を図ります。 |
| 期間  | 夏：平成23年6月～8月、秋冬：平成23年11月～平成24年1月   |
| 内容等 | ・府民会議構成団体を通じてその会員等に周知等を図ります。   |

(10) ストップ地球温暖化デーや各種イベント等の周知

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」や、地球温暖化対策や省エネ行動の実践等に関するその他の各種イベントについて周知を図ります。 |
| 期間  | 随時実施   |
| 内容等 | ・府民会議や構成団体主催のイベント等において周知、啓発等を行います。                               |

(11) おおさか環境賞の実施

|     |   |
|-----|---|
| 趣旨  | 自主的かつ積極的に、他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組んでいる個人、団体、事業者に対し、その活動を賞し奨励することを通じて、豊かな環境づくりに向けた行動の輪を広げることが目的として実施します。   |
| 時期  | 推薦受付：平成23年4月中旬～6月中旬、選考：平成23年7月、表彰式：平成23年8月末   |
| 内容等 | ・府民会議構成団体等を通じて候補者を推薦してもらい、選考委員会による選考を経て、大賞、準大賞、特別奨励賞、奨励賞を授与します。<br>(参照) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/prize.html">http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/prize.html</a> |

(13) 大阪府環境保全活動補助事業への審査協力

|     |  |
|-----|--|
| 趣旨  | 大阪府が、民間団体の環境保全活動を奨励することを目的として、先進的で他の模範となる環境保全活動に対して助成を行う事業について、府民会議としてその審査に協力します。  |
| 時期  | 募集：平成23年3月～5月、審査：平成23年6月、決定：平成23年7月  |
| 内容等 | ・府民会議の企画委員の中から環境保全活動補助事業審査会の審査委員が選任され、補助対象案件の審査に協力します。<br>(参照) <a href="http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/katsudo/hojyokin.html">http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/katsudo/hojyokin.html</a> |

## 2 平成22年度の府民会議主体の活動の報告

平成22年度の新規事業として、環境に関するテーマに基づいて、パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品をホームページに掲載し、好みのデザインのもを誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより啓発を行う「環境壁紙コレクション」事業を実施しました。27作品の応募を得ることができ、その中から、府民会議において優秀作品を3点選定し、表彰しました。

前年度からの継続事業では、グリーン購入の普及・拡大と、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に、「グリーン購入セミナー in 大阪」を70名の参加者を得て開催したほか、グリーン購入に関しては、その実践を通じて、府民や事業者が環境の関わりを認識し、環境に配慮した生活・経済活動を実践する契機とするため、10月に、3,817店舗の参加を得て、「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施するとともに、店舗における環境配慮型商品の取扱状況等を調べ情報発信するため、府内160店舗を対象に「グリーン購入に関する店舗調査」を実施しました。

また、「ライトダウンキャンペーン」、「ウォームビズ」については、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめてホームページで公表したほか、「夏季の適正冷房と軽装勤務」、「省エネラベルキャンペーン」、「ストップ地球温暖化デー」等の各種キャンペーン等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図り、その積極的な参加を促しました。

他にも、他の模範となるような環境保全活動に取り組んでいる個人・団体・事業者に対して「おおさか環境賞」を授与し、顕彰しました。

さらに、環境保全活動に取り組んでいる団体に対し補助金を交付する「大阪府環境保全活動補助事業」について、補助対象案件の審査に協力しました。

こうした府民会議や構成団体等の活動については、電子広報誌「かんきょう夢広場」を年4回発行して紹介しました。

### (1) 「環境壁紙コレクション」事業の実施

パソコン・ディスプレイの壁紙デザインを募集し、応募作品をホームページに掲載して、好みのデザインのもを閲覧者の誰もが気軽にダウンロードできるようにすることにより環境に関する啓発につなげる「環境壁紙コレクション」事業を実施しました。

平成22年度は「減らそうCO2 めざそう低炭素社会」をテーマに広く作品を募集したところ、府内外から27作品の応募があり、各作品の閲覧件数を参考に府民会議において優秀作品を3点選定し、表彰しました。

(参照) [http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection\\_gallery.html](http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/collection_gallery.html)



<最優秀作品賞>受賞作  
「SAVE THE EARTH.」

## (2) エコチャレンジ事業の実施

身近に実践できるエコアクションがCO<sub>2</sub>排出量の削減につながることを実感してもらうために、エコアクション項目を記載したチェックシートを府民会議構成団体の会員等に配布し、平成22年6月中の任意の7日間において実際に実践してもらった項目をチェックしてもらい「エコチャレンジ事業」を実施しました。

府民会議構成団体の会員をはじめ436名（大人362名、子ども74名）の参加があり、その結果については府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の平成22年9月号に掲載して公表しました。

（参照）<http://www.pref.osaka.jp/chi-kyukankyo/room/challenge.html>

### <大人の取り組み結果>

| 取り組み項目                                | 実施率(%) |
|---------------------------------------|--------|
| 冷蔵庫の扉は開けたらすぐ閉めよう                      | 83.0   |
| 料理の際に炎がなべ底からはみ出ないようにしよう               | 77.7   |
| 自分の部屋の照明はこまめに消そう                      | 80.3   |
| 見ないときはテレビを消そう                         | 71.3   |
| 買い物はマイバッグを持参し、省包装のものを選ぼう              | 64.0   |
| エアコンの冷房時間を1日1時間短縮しよう                  | 42.4   |
| シャワーのお湯を出しっぱなしにするのはやめよう               | 79.0   |
| 電気ポットでお湯を長時間保温するのはやめよう                | 48.8   |
| 発進時5秒間で20km/h程度の加速する、ふんわりアクセルスタートをしよう | 31.2   |

### <子どもの取り組み結果>

| 取り組み項目                  | 実施率(%) |
|-------------------------|--------|
| 冷蔵庫の扉は開けたらすぐ閉めよう        | 91.1   |
| ヘアドライヤーの使用時間を1日1分短縮しよう  | 68.5   |
| 自分の部屋の照明はこまめに消そう        | 86.5   |
| 見ないときはテレビを消そう           | 84.9   |
| エアコンの冷房時間を1日1時間短縮しよう    | 61.8   |
| シャワーのお湯を出しっぱなしにするのはやめよう | 80.5   |
| テレビゲームをする時間を半分にしよう      | 70.7   |

### (3) 「グリーン購入セミナー in 大阪」の開催

『グリーン購入で実現 低炭素社会！！ ー地球温暖化防止につなげる、企業と地域の取り組みー』をテーマに、大阪を中心とした近畿地域の企業、行政、民間団体を対象に、グリーン購入の普及・拡大と、グリーン購入へのさらなる理解を深めていただくことを目的に開催しました。

会場では、府民会議の実践活動について、ポスターによるPRも行いました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/seminar2010.html>



|      |  |
|------|--|
| 開催日  | 平成22年12月14日  |
| 会場   | エル・おおさか(大阪府立労働センター) 大会議室   |
| 参加者  | 70名  |
| 主な内容 | <p>☆基調講演「信念に基づいてグリーン購入し、低炭素革命を進めよう！」<br/>東京大学名誉教授 山本良一氏</p> <p>☆事例発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>★たじま農業協同組合<br/>「コウトリ育むお米作りの取り組みについて」</li> <li>★TOTO株式会社<br/>「ハイドロテクトを応用した製品開発及び普及促進による地球環境への貢献」</li> <li>★高槻市<br/>「高槻市の環境への取り組み ～新エネルギービジョンの事例を交えて」</li> <li>★グリーン購入ネットワーク<br/>「グリーン購入の現状と課題」</li> </ul> |
| その他  | 豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、環境省、(財)日本環境協会、グリーン購入ネットワークの共催で実施しました。   |

### (4) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

平成22年10月に、消費者に環境にやさしい消費行動(グリーン購入)を呼びかけ、環境に配慮したライフスタイルの実践を促すため、スーパー・生活協同組合等の店舗において「環境にやさしい買い物キャンペーン」を実施しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chiikyukankyo/room/kaimono.html>


|      |   |
|------|---|
| 実施期間 | 平成22年10月1日～10月31日   |
| 参加店舗 | スーパー・生協・百貨店・商店街等 3, 817店舗   |
| 主な内容 | <p>☆共通の取り組み<br/>           キャンペーンの統一的な取り組みを設定し、各店舗で実施しました。<br/>           ポスターの掲示、環境に配慮した商品等の積極的な販売、包装の削減、はかり売りの実施、買い物袋の持参 等</p> <p>☆店舗独自の取り組み<br/>           各店舗の状況に応じて、特設コーナーの設置など、グリーン購入の普及に即した独自の取り組みを実施しました。</p> |
| その他  | 豊かな環境づくり大阪府民会議、大阪府、大阪府リサイクル社会推進会議が、環境省、経済産業省、3R活動推進フォーラム、全国の都道府県との共同キャンペーンとして実施しました。  |

#### (5) グリーン購入に関する店舗調査の実施

府内のスーパーにおける環境配慮型商品の取扱い状況等の調査を行い、調査結果の情報発信を通じて府民の環境配慮行動を促進するとともに、グリーン購入に関する知識を学習することにより、調査員自身のグリーン購入の実践を促すため、「グリーン購入に関する店舗調査」を実施しました。

その結果については、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の平成22年12月号に掲載して公表しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/tenpo2010.html>

|      |   |  |
|------|---|--|
| 調査期間 | 平成22年10月1日～10月31日   |  |
| 調査店舗 | 調査店舗数 160店舗   |  |
| 調査内容 | 環境配慮型商品の取扱い状況、環境配慮型商品の販売方法 等                                  |  |
| 調査方法 | 豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の会員が店舗を訪問する実地調査を行うとともに、文書によるアンケート調査を実施しました。 |  |

#### (6) 府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」の発行

豊かな環境づくり大阪府民会議の活動や、構成団体が取り組んでいる活動等について紹介、広報等を行うため年4回電子広報誌「かんきょう夢ひろば」をHPに掲載する形で発行しました。

(参照) [http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba\\_back.html](http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/hiroba_back.html)

#### (7) 各種キャンペーンへの参加等

地球温暖化を防ぐということに気づくシンプルな行動として、ライトアップ施設や家庭・職場の電気を消すように呼びかける「ライトダウンキャンペーン」、冬季において、厚着の奨励などにより、事務所や会議室の適正暖房（政府・自治体 19℃、民間 20℃）を徹底し、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「ウォームビズ」の取り組みについては、府民会議構成団体への周知と積極的な参加を促すとともに、府民会議構成団体の参加状況を取りまとめ

ホームページで公表しました。

また、事務所や会議室の適正冷房（28℃）の徹底や、軽装の奨励などにより、省エネの一層の推進を通じて地球温暖化防止を図る「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取組みについては、府民会議構成団体を通じて会員等への周知と積極的な参加を促しました。

さらに、家庭からのCO<sub>2</sub>排出量を削減するため、省エネ情報を提供する「省エネラベル」を商品に貼付して家庭における省エネ型家電製品の導入を誘導する「省エネラベルキャンペーン」や、毎月16日の「ストップ地球温暖化デー」等について、府民会議構成団体を通じて会員等への周知を図りました。

（参照）ライトダウンキャンペーン

<http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/lightdown.html>

（参照）ウォームビズ

<http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/warmbiz.html>

#### （8）第14回「おおさか環境賞」の実施

この賞は、地球温暖化防止や自然との共生、快適環境の創造など、自主的かつ積極的に他の模範となる環境の保全又は創造に資する活動に取り組み、顕著な功績のあった個人・団体・事業者を「豊かな環境づくり大阪府民会議」が大阪府と共同で表彰するものです。

平成22年度は、以下の方々が受賞され、平成22年8月31日に大阪府公館において表彰式を行いました。

（参照）<http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/prize.html>



（府民活動部門の受賞者の皆様）



（事業活動部門の受賞者の皆様）

#### ＜大 賞＞ 事業活動部門 阪急電鉄株式会社

新駅「摂津市駅」の運営における省エネ技術導入による年間CO<sub>2</sub>削減と排出枠の購入により日本初のカーボン・ニュートラル・ステーション（CO<sub>2</sub>排出量ゼロの駅）の試みは非常にインパクトがあり、先進性、独創性の点で高く評価されました。

また、環境メッセージ列車「カーボン・ニュートラル・トレイン 摂津市駅号」による環境啓発活動や環境に配慮したレンタサイクルサービスを実施するなど、駅関連の施策にも取り組まれています。

駅運営（売店含）における年間CO<sub>2</sub>削減量は約75t、摂津市駅号運行の際にオフセットするCO<sub>2</sub>の量は約200tを見込まれています。

**<準大賞> 事業活動部門 イズミヤOB会・ゴールドファーム**

イズミヤから排出される食品残渣を堆肥化されたものを農園にて2次処理を行い、熟成したものを野菜づくりに活用する活動をされており、2店舗で年間約60t分を遊休農地に投入されています。

退職者が任意に集まり、本体事業以外の活動として、体験農園・食育教育に取り組まれていることは、今後、定年退職者が増えていく中で、同じ価値観を持つ退職者が地域で貢献活動する1つのモデルとして高く評価されました。

**<特別奨励賞> 府民活動部門 社団法人ガールスカウト日本連盟大阪府第8団**

東大阪市内を流れる長瀬川を昔のような花や生き物であふれ、水遊びのできるきれいな川として取り戻すため、月1回の清掃活動や浄化作用のある水生植物の栽培、川の汚染度調査などの活動を11年以上継続し、また、夏休みには、川の中や周辺の生き物調査や植物観察を行ったり、ヒートアイランド軽減の打ち水にも進んで参加しており、地元団体との連携が広がるなど、地域への貢献性が高く評価されました。

**<特別奨励賞> 事業活動部門 大阪ガス株式会社 泉北製造所**

都市ガスの原料となる液化天然ガス（LNG）の持つ-160℃という冷熱を有効利用に積極的に取り組み、近隣企業と連携した冷熱需要の開拓と、海水を熱源としたLNG気化器を運転せずに都市ガス製造を行う手法の確立により、CO<sub>2</sub>排出抑制効果も大きく、世界で初めてLNGの冷熱利用100%を実現する見込みに至った先進性の点が高く評価されました。

冷熱利用による購入電力の削減実績は最大で年間約21.7万MWhであり、CO<sub>2</sub>排出抑制量に換算した場合、約15万tに相当します。

**<奨励賞> 府民活動部門**

**○レインボーエコクラブ**

生ゴミ減量に向けて、家庭から出る生ゴミを家庭菜園の肥料に変えるための発酵資材として、EMぼかしを作り、役場にて来庁された住民に無料配布したり、町内のイベントに参加し、来場者に生ゴミからの有機肥料作りのPRや啓発を行い循環型社会の実現に向け活動を行われています。

**○社団法人大阪エイフボランティアネットワーク 泉南支部**

毎月、公民館、道路、道路側溝等の清掃活動を行うなど、長年にわたり美化活動に取り組んでいるほか、各家庭から出る廃食用油を活用して石鹼作りや、ゴキブリ駆除のため「ホウ酸ダンゴ」を作り、近隣家庭にも配布して積極的に駆除活動を行われています。

**○奥 清司**

焼却ごみの減量化に取り組み家庭の生ゴミ堆肥化を推進、休耕田を借りて18名で累計16tの生ゴミを堆肥として持込野菜を育てているほか、「地球の温暖化防止」をテーマとした出前講演を16箇所で行われました。

**○吹田ライオンズクラブ**

千里北公園北部地区の荒れ地に「里地・里山」を作り、自然を取り戻し、源氏ホタルを呼び戻す5ヵ年計画を立てられ、これまで、荒れ地を耕し、田んぼを作り、メダカやドジョウの放流や市の名物である吹田くわいの栽培、小川にホタルの餌となるカワニナや、ホタルの幼虫も育てておられます。

## ＜奨励賞＞ 事業活動部門

### ○株式会社シマノ

独自基準の「シマノグリーンプラン」を平成 16 年に作成し、各協力会社と共に一丸となって「環境負荷の少ない商品を製造するための体制づくり」に取り組まれています。

また、水質浄化作用のあるヨシに着目し、河川の清掃やヨシ刈りなどの実践活動およびヨシ栽培やヨシを利用した紙すきの指導を始めとした河川環境の保全改善に向けた活動を行われています。

### ○神崎川畔企業連絡会

平成 15 年以降、毎年 10 月ごろに神崎川畔クリーンアップ作戦として、神崎川流域にある企業や周辺自治会、行政の参加による清掃が行われています。平成 16 年には、大阪府と「神崎川アドプトリバー水鳥」の協定を結んだほか、平成 19 年には、過去の活動を更に進めるために、ワークショップを行い、神崎川畔将来ビジョンを策定され、ビジョンを目標に活動されています。

### ○関西電力株式会社

小規模なバイオマス発電の高効率化を目的として新潟原動機株式会社と共同でバイオガスをエンジンを開発されました。このエンジンは、国内における、自治体、食品加工工場、産業廃棄物中間処理業等での利用のほか、海外 CDM 案件での利用など幅広く地球温暖化防止への貢献が期待されます。

### ○株式会社竹中工務店 大阪本店

大阪本店有志により平成 20 年に発足した「大阪を考える研究会」において、「豊かな環境の創造」に資する社会実験やワークショップを通じた実践活動の成果として、「水と緑と風のパーゴラ」と「中之島浮島プロジェクト」の社会実験、小中学生への「エコスクール見学会」（環境授業）を実施されました。

※ 2 件の社会実験は、「水都大阪 2009」での「市民企画」に応募、実施された社会実験です。

### ○西日本高速道路株式会社

日照弊害を受けにくい高速道路の遮音壁に着目し、第二京阪道路の遮音壁の外壁板の部品として直接太陽光パネルを取り付けるといった、遮音壁と一体型の太陽光発電設備であることが特長です。

こうした設置は、日本初の試みで、発電された電力は、近傍の IC やトンネル照明等に供給し、供給先で消費する電力の 15～20% を削減することを目標にしています。

### ○阪神高速道路株式会社

阪神高速 5 号湾岸線下り（神戸方面行）にある中島パーキングエリアに電気自動車（EV）用急速充電器を設置し、充電サービスを 24 時間、無償で提供しています。

また、平成 21 年 11 月には、業務用車両に EV を導入し、現場調査や業務連絡のために使用するほか、大阪モーターショー等において車両展示する等、積極的に府民へ EV の普及活動が行われています。

### ○レンゴー株式会社

段ボールは、再資源化率が高く、現在では外箱だけでなく内部の緩衝材にも利用されていますが、段ボール自体の重量を軽減させた紙を開発したことで、紙の使用量だけでなく、CO<sub>2</sub> 排出の抑制にも貢献されました。



## ○田中紙管株式会社

通常の紙管は水に溶けにくいので、これまでは焼却・産廃処分されていましたが、日本で初めてこの問題を解決し、使用済みでも紙の原料として再利用できる新しい「グリーン紙管」を開発されました。

紙管原紙に使用していた薬品や接着剤の切り替えなどにより、品質とコストを従来品と同等に抑えつつ、商品化に成功されました。

### (9) 平成22年度大阪府環境保全活動補助事業による活動支援

NPO等の民間団体が行う身近な地域における環境保全・創造活動を支援・奨励するため、内容が先進的で他の団体の模範となる活動に対して、補助金を交付しました。

平成22年度は、9件 1,789,300円の補助金を交付しました。

(参照) <http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/katsudo/hojyokin.html>

[平成22年度補助対象事業一覧]

| 団体名                    | 活動名                               | 活動概要   | 対象者            | 実施時期                             | 実施場所                     |
|------------------------|-----------------------------------|--|----------------|----------------------------------|--------------------------|
| 東大阪市民環境フェスティバル実行委員会    | 2010年東大阪市民環境フェスティバル               | 地球温暖化防止・生物多様性・水環境の保全・生活環境の保全などの環境問題について市民の理解を深め行動を促すための啓発イベント(団体・企業の活動PR、子ども参加型のブースなど)を開催した。                     | 参加者<br>約1,000名 | H22.11.13                        | クリエイション・コア東大阪 クリエーターズプラザ |
| 財団法人オイスカ関西総支部          | 「ふれあいの森」森づくり活動                    | 「人と自然」が調和した森を目指して「人と人」がふれ合いながら森作り活動を行うことを目的に、ふれあいボランティアとともに、ふれあいの森にて間伐・除伐・ササ刈・草刈りを行った。                           | 参加者<br>延べ94名   | H22.10.1<br>H22.10.2<br>H23.3.13 | 四條畷市<br>ふれあいの森           |
| 特定非営利活動法人大阪府民循環型社会推進機構 | 生物多様性の保全・再生を目指した新たな竹林整備手法に関する調査研究 | 生物多様性を視点とした竹林保全活動についての定性便益評価手法の構築に資する研究のため、万博記念公園内の竹林内でピオトーブ池整備、皆伐地作成をし、その地域での生物定性調査を行った。また、イベントにおいて竹林整備の啓発を行った。 | 参加者<br>約1,200名 | H22.7～<br>H23.3                  | 千里万博記念公園                 |
| かたの環境フェスタ市民会議          | 「環境フェスタ in 交野2011」開催              | 地球環境問題、身近なごみ問題、里山保全などの自然環境問題など、様々な環境問題について広く市民に啓蒙・啓発し、参画団体間の交流を図るため、環境フェスタとして各種団体の活動紹介、子供たちへの体験学習などを行った。         | 参加者<br>約3,400名 | H23.2.20                         | 交野市私市星のさといわふね            |

| 団体名  | 活動名   | 活動概要   | 対象者                 | 実施時期            | 実施場所                      |
|--|---|--|---------------------|-----------------|---------------------------|
| Rびんプロジェクト                                  | 大阪府ミュージアム構想指定地区内におけるリユースモデル作り               | 「リユースびん」商品の購入やマイボトル持参という行動につなげる仕組みづくり、他地区にも広げていけるモデルケースを作ることを目的に、地区内にリユース普及推進委員会を設置し、リユースびん商品のキャンペーン、リユース体験講座(給茶、リユースカップ料理、リユースびん体験)を開催した。 | 参加者<br>延べ 270<br>名  | H22.5～<br>H23.3 | 柏原市太平寺                    |
| 財団法人<br>公害地域再生センター                         | 大阪菜の花プロジェクト実施団体のネットワーク構築<交流・勉強会、廃油キャンドルナイト> | 大阪府内各地で実施されている「菜の花プロジェクト」(菜の花栽培、廃食油回収、BDF製造)の情報交換・知見の拡大のため、ネットワーク作り、交流・勉強会、廃油キャンドルナイト、パンフレット発行を行った。(                                       | 参加者<br>550名         | H22.8～<br>H23.3 | 大阪市西淀川区、<br>京都府丹後         |
| 特定非営利活動法人<br>近畿環境市民活動相互支援センター<br>(エコネット近畿) | 「近畿の河川クリーンアップ活動」事業                          | 近畿の河川・湖沼の清掃を通じた団体の交流、ネットワーク作りを目的に、芥川で清掃活動後にごみの分別調査などの講習会、ゴミの問題点などの勉強会、活動報告会を開催した。  | 参加者<br>延べ約 560<br>名 | H22.8～<br>H23.3 | 近畿の河川及び大阪府内の事務所や貸し会場      |
| 天竺川ホタルの会                                   | 竹林の整理と間伐材の有効活用                              | 環境保全に関する啓発と地域の活性化を目的として、月1回の竹林の間伐、間伐材を活用した竹炭による川の浄化、竹灯籠祭り・竹細工教室を行った。   | 参加者延べ<br>約 400 名    | H22.7～<br>H23.3 | 豊中市新千里南町<br>3丁目           |
| 社団法人<br>大阪外食産業協会                           | 環境シンポジウム ～もったいない!～                          | 消費者や次世代の学生に対する情報発信と、府民のより豊かな食生活に寄与することを目的に、「環境シンポジウムーもったいない!ー」を開催し、学校・消費者・行政・外食産業それぞれの事例報告、「もったいない」をテーマとするパネルディスカッション、展示などを行った。            | 参加者<br>約 130 名      | H23.2.22        | 大阪市内<br>(大阪外食産業協会<br>会議室) |

### 3 府民会議構成団体の活動

府民会議に参加している府民団体、事業者団体、関連団体等の平成23年度の活動予定及び平成22年度の活動報告の概要は、次頁以下に掲載しているとおりです。

府民会議構成団体の活動を重点行動テーマごとに見ると、次のとおりです。

「Ⅰ グリーン購入の推進」については、22年度は16団体が取り組みました。23年度も16団体が、グリーン購入の実践をはじめ、グリーン購入についての啓発、買い物袋（マイバッグ）持参運動の実施、環境の配慮した商品の開発・販売などに取り組みます。

「Ⅱ ごみ減量化・リサイクルの推進」については、22年度は14団体が取り組みを行いました。23年度は13団体が取り組みを行う予定です。うち、府民団体では構成員の一人ひとりがごみの減量化や分別廃棄などの具体的な実践行動に取り組み、事業者団体では、簡易包装による包装材の減量化や食品リサイクル、各店舗における廃棄物の分別回収等のリサイクル運動の実践などに取り組みます。

「Ⅲ 家庭や学校・職場での省エネ・新エネの推進」については、22年度は15団体が取り組みを行いました。23年度は16団体が、事務所等におけるスイッチオフや、夏季の適正冷房・軽装を行うエコ・スタイルの実践などによる電力使用量の削減等に取り組みます。

「Ⅳ 自動車の使用の見直し・エコドライブの推進」については、22年度は9団体が取り組みを行いました。23年度は6団体が、エコドライブやアイドリイングストップの実践、ノーマイカー等における公共交通機関の利用促進、低公害車の普及啓発などに取り組みます。

「Ⅴ 自然環境の保全とふれあいの推進」については、22年度は10団体が取り組みを行いました。23年度も10団体が、森林や里山の保全、河川の浄化や美化、生態系の保全、イベント実施時のごみの持ち帰りや環境配慮の徹底などに取り組みます。

「Ⅵ 緑化の推進」では、22年度は4団体が取り組みを行いました。23年度も4団体が、植樹や緑化運動などに取り組みます。

その他にも、府民会議構成団体が実施した啓発イベントやセミナー・研修会等に、延べ約6万人の参加を見込んでいます。

なお、各構成団体の活動の具体的な内容や実績については、下記ホームページに重点行動テーマごとに分類して掲載しています。

(<http://www.pref.osaka.jp/chikyukankyo/room/keikaku.html>)

☆☆ 府民団体 ☆☆

**団体名** 社団法人 大阪エイフボランティアネットワーク

**HP**

平成 22 年度活動の主なものは、最重点目標として実施した、V 自然環境の保全とふれあいの推進についての、「きれいな水を取り戻す運動」は、行政機関や自治会等と連携して、道路側溝・公園・駅周辺・河川敷・海浜等の清掃活動や、廃食用油を回収して石鹸づくりを行う等で、瀬戸内海に流入する河川の水質改善に努めました。

次に、II ごみの減量化・リサイクルの推進については、行政機関や自治会等と連携して、リサイクル可能な廃棄物を分別収集するなど、それぞれリサイクル業者へと引き継ぎをしました。

特異な例としては、古綿布を収集して洗濯、アイロンかけ後、一定の大きさに裁断のうえ、老人施設の清拭用布として寄贈しました。

そのほか、I グリーン購入の推進、VI 緑化の推進など街頭で、活発に啓発活動を実施しました。

平成 23 年度においても、これまで同様の目標をかかげ、本年度の活動実績を更に上回るよう近隣住民とともに、啓発活動、実践活動を推進する予定です。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、IV、V、VI、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

**団体名** 財団法人大阪府こども会育成連合会

**HP** <http://www2.ocn.ne.jp/~fukodomo/>

平成 22 年度については、環境学習の視点を取入れ、子ども自身が体験や調査を通じて環境問題について学び、その成果を地球の人々に発信していく地域ぐるみの活動を呼びかけてまいりました。

平成 23 年度についても広報紙「こども会大阪」を通じて地球温暖化防止を呼びかけてまいります。また、リサイクル活動、公園や街の清掃、身近な自然の観察、こどもによる地域の安全マップ作成など豊かな環境づくりに向けた地域ぐるみの活動を展開してまいります。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> その他

**団体名** 大阪府生活協同組合連合会  
**HP** <http://www.osaka-union.coop>

平成 22 年度は昨年に引き続き全国の生協で取り組む「コープみんなでエコキャンペーン」に会員生協組合員約 26,000 人が参加し、試算では約 14,600 kg の CO2 削減効果がありました。

また、行政、事業者、環境団体、消費者団体が連携して取り組む、家電製品の「省エネラベルキャンペーン」の大阪実行委員会に参加し、量販店での省エネラベルの活用実態のモニタリング等の活動をすすめました。

平成 23 年度は、全国キャンペーンが昨年度で一旦終了となりましたので、個別生協での独自の取り組みとなりますが、府内の環境団体や消費者団体と連携し、環境をテーマとした学習活動等を推進し、引き続き家庭での省エネ活動を推進します。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

**団体名** 大阪府青年団協議会  
**HP**

平成 22 年度は、例年推進しているグリーン購入の推進を、主に事業ごと、諸会議の中で加盟市町団のメンバーに訴えながら、実施に向けて進めてまいりました。

平成 23 年度は、“グリーン購入の推進”に加えて、地域ごとの諸問題に対応する活動を推進してまいります。

(例) 岸和田市 溝の薬剤散布  
泉佐野市 CO2 減少に向けた自動車使用を考える行動  
泉南市 自然浜の清掃美化活動

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、IV、その他

21世紀を担うガールスカウトの少女達が責任ある「世界市民」の一員として、地域の今日的な問題である環境問題への取り組みを日常の活動の中に取り入れ実施しました。

- ① グリーン購入の推進：長年続けてきた店舗調査が今回で終わりましたが、環境に配慮した商品の知識、販売方法などへの関心が強まってきました。今回の調査の地域ではスカウト（高校生）が「体に良い野菜を作ろう」をテーマに畑を借りる交渉から整地・種まき・成長観察・水やり・草取りと地域の方の協力を得て冬野菜を育てる経験をすることができました。《自然環境の保全とふれあいの推進》への展開ができ、地産地消や農作業の体験を通じ、都市農業の重要性を考えるきっかけとなりました。
- ② 自然環境の保全とふれあいの推進：東大阪市内を流れる長瀬川を昔のような花や生き物であふれ、水遊びのできるきれいな川として取り戻すため、月1回の清掃活動や浄化作用のある水生植物の栽培、川の汚染度調査などの活動を11年以上継続し、また、夏休みには、川の中や周辺の生き物調査や植物観察を行ったり、ヒートアイランド軽減の打ち水にも進んで参加、地域への貢献性が高く評価され、第14回「おおさか環境賞＜特別奨励賞＞」を受賞しました。

(社)ガールスカウト日本連盟では2010年よりピースプロジェクト Greener × Greener を始めます。この活動は日本の地域の緑のために日本のガールスカウトが中心になって地域の人々と活動することで、難民キャンプの自然環境の回復を支援するプロジェクトです。

「日本の環境のために」「世界の難民のために」子どもたちが中心となり、自分たちの手で自分達の住む地域に貢献するための行動をし続け、そしてその頑張りから得たものや収益を、難民のために使っていくというものです。今年度は生駒山系山桜植栽事業にも他団体と連携して積極的に参加していきます。「世界市民」の一員として、これまで以上に、30の重点行動に取り組んでいきます。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、V、VI、その他

平成22年度は、

- ・ グリーン購入の必要性として、マイバッグ持参運動へ取り組み、エコ商品として再生しやすいものを買求めるよう呼びかけ、環境ラベルブックによる勉強会を実施しました。
- ・ スイッチオフ推進運動、自家用車のアイドリングストップの取り組みも呼びかけました。
- ・ 6月20日～7月7日「CO2削減ライトダウンキャンペーン2010」実施のお願いが大阪府より送付され、家庭においても協力を呼びかける、などを実施しました。

平成23年度は、

- ・ マイバッグ持参運動
  - ・ グリーン購入推進運動
  - ・ 環境ラベルの周知徹底
  - ・ 省エネの推進としてスイッチオフ運動
  - ・ 自動車使用の見直し、エコドライブの推進として、自家用車のアイドリングストップの取り組みを呼びかける
  - ・ 環境美化に関わる活動としてCO2削減や緑化の実践行動の推進
- を実施する予定です。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、V

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、IV、V、その他

団体名 国際ロータリー第 2660 地区

HP <http://www.ri2660.gr.jp/>

国際ロータリー第 2660 地区は、84 クラブ、3,700 名余の会員で構成されています。環境問題を最優先事項の一つとしてとらえております。

22 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行いました。
- ②世界環境デー(6/5)/環境月間の運動への参加を行いました。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施しました。

23 年度は、

- ①グリーン購入の推進を通年行います。
- ②世界環境デー(6/5)/環境月間の運動への参加を行います。
- ③環境問題の啓発・情報提供を実施します。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、その他



**団体名** なにわの消費者団体連絡会

**HP**

平成 22 年度はグリーン購入について、以下の取り組みを行いました。

- ① 事業者は買い物袋持参・エコバッグについてどう考えているのかを消費者はどう考えているのかを事業者との懇談を行った。
- ② 事業者との懇談会の前にごみ発生抑制の問題や「容器包装リサイクル法」について捉えておいたほうが良いということで学習会を行った。講師は大阪府の資源循環課の担当者にしていただいた。(環境問題を考えるとき、レジ袋だけでなくトレイについても問題化した)
- ③ 今後とも消費者団体として「ごみゼロ」を一般府民に広く啓発活動をしていきたい。
- ④ 廃棄物処理のごみ問題をどうしていくかの問題もあり、環境にいい社会をつくるには事業者、消費者、行政が一緒になってやっていかないとだめではないかを再確認した。

平成 22 年度構成団体の活動につきましては特記すべき団体は

- ② 「とよなか消費者協会」が「トレイの削減」「買い物袋持参運動」に取り組んだ
- ② 寝屋川市消費者協会が「地産地消」に取り組んだ

平成 23 年度は、CO<sub>2</sub>削減に向けて暮らしの中でなにが出来るか、グリーン購入のみならず広い意味での日ごろの「環境にやさしい暮らし方」とは、そして何が出来るかじっくりと考えてみたい。

「環境にやさしい」といわれる太陽光・ソーラーシステム・蓄電などについても「暮らし」の中でどのようなメリット・デメリットなどあるのかも考えてみたい。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、V

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

**団体名** 公益社団法人 日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会

**HP** <http://www.jaycee.or.jp/2011/kinki/osaka/>

平成 22 年度は、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけました。

平成 23 年度も、事業実施時には、大阪府下各地青年会議所にも、環境配慮を呼びかけます。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> V

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> V

**団体名** 日本ボーイスカウト大阪連盟

**HP** <http://swo.to>

平成22年度は、毎年全国的に行っている「カントリー大作戦」は、9月20日大阪府内の各加盟団が各団地域で、約1万個の空き缶やペットボトルの回収とともに地域清掃を一斉活動として行いました。

この活動も20年を超える活動として行ってきましたが、当初10万個が回収されましたが、現在は10分の1になるように社会的に空き缶やゴミの放置は少なくなってきました。現在は、啓発活動として行う面が強く、ペットボトルのキャップを回収して団体に贈る等、リサイクル活動の側面が付加されてきました。

また、ボーイスカウトのフィールドである野外はでの環境配慮実践活動は、大阪連盟野営場である「キャンプおおさか」での実践・研究を進めており、これを基に、各単位団は「ローインパクトキャンプ」の実践を行いました。

また、戦後間もなくから継続している「緑の羽根募金活動」の街頭募金活動と府内の植樹を実施しました。

平成23年度は、カントリー大作戦の継続実施を中心に、環境美化を中心に「豊かな環境づくり」の啓発に努めていきたい。

また、キャンプやハイキングなどの野外活動のフィールドでの環境配慮実践をより高度に、より今日的に行えるよう日々の研究を行いたい。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、V、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、V、その他

**団体名:** 日本野鳥の会大阪支部

**HP:** <http://www10.plala.or.jp/birdsosaka/>

平成22年度において、野鳥の会では、活動の中心である自然観察会で公共交通機関の利用を徹底し、車の使用を見直し、世界規模で問題となっている「地球温暖化防止」に努めました。

また、野生動物と共存できる環境を守る事を進めるため、「自然とのふれあいの推進」の啓蒙のために、学校、会社、団体に対し啓蒙活動を行いました。

さらに、関西の河川でゴミ拾いを行っているボランティア団体「ゴミンゴ・ゴミ拾いネットワーク」と協同して、淀川・海老江干潟で春の4月と5月、秋の8月9月の4回シギチドリを観察した後、ゴミンゴの皆さんとゴミ拾いを実施しました。

平成23年度も、引き続き、これらの実践活動を実施していく予定です。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、IV、V、その他

**団体名** 日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）

**HP** <http://www.rengo-osaka.gr.jp/>

日本労働組合総連合会大阪府連合会（連合大阪）は、「エコ・ユニオンー環境にやさしい労働組合」をめざして、環境問題への取り組みを活動方針の大きな柱の1つとして位置づけてきました。

平成22年度は、引き続き連合が全国で展開している「エコライフ21」により各構成組織が独自の取り組みを展開しました。

また、連合大阪の地域組織は、10月23日（土）に、大阪府域一斉環境活動実施日として、森林地帯の環境整備や駅・河川・公園等の清掃活動を実施し、さらにはエコキャップ運動も積極的に展開し、地域社会への啓発を行いました。

平成23年度も、平成22年度の活動を引き続き行っていきます。

連合大阪府域一斉環境活動を10月22日（土）に行うことに加え、新たに環境に即した取り組みを行っていく予定です。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅴ、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅴ、その他

**団体名** ライオンズクラブ国際協会335-B地区

**HP** <http://www.lc335b.gr.jp/>

平成22年度は、地球温暖化防止セミナーの開催、水辺のクリーンアップ大作戦での清掃活動、リサイクル、エコ活動等、環境への取り組みを、大阪府・和歌山県下194のクラブが様々な活動を行っておりました。

平成23年度も、これまでの事業を継続して実施していく予定です。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅵ、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ、Ⅵ、その他

☆☆ 事業者団体 ☆☆

団体名 (公社) 関西経済連合会

HP <http://www.kankeiren.or.jp/>

平成22年度は、民生部門等における環境に配慮した自主的取り組みへの普及啓発活動として、適正冷房運動の推進活動を行いました。

また、「環境先進地域・関西」を創出するため、「環境・エネルギー技術・製品事例集」の改訂を行い、関西の環境技術の先進性を国内外にPRするとともに、省エネセンターおよび大阪環境カウンセラー協会と連携し、中堅・中小企業の自主的な環境活動の促進に向けセミナーや勉強会を実施しました。

(主な取組実績)

- ・夏季の適正冷房と軽装勤務の奨励
- ・「環境・エネルギー技術・製品事例集」の改訂 (H22.12.13)
- ・中堅・中小企業向け「環境と省エネに関する勉強会」(年度で5回開催)

平成23年度は、昨年度の取り組みに加え、次世代層へのエネルギー・環境教育推進への支援活動として、主に小中学校において、エネルギー・環境教育をテーマに、学校自らが実践授業に取り組むための各種支援に取り組んでいく予定です。

(主な取組予定)

- ・夏季の適正冷房と軽装勤務の奨励(関西広域連合との連携)
- ・「環境・エネルギー技術・製品事例集」によるPR活動
- ・中堅・中小企業向け「環境と省エネに関する勉強会」の開催
- ・エネルギー環境教育活動に関する教育委員会への協力  
(企業の出前授業紹介、教材提供・講師派遣等)

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

団体名 (社) 関西経済同友会

HP <http://www.kansai-doyukai.or.jp>

(社)関西経済同友会は、日本の経済社会の諸問題を調査研究し、提言を行うこと、併せて会員相互の交流および経営者としての自己研鑽を行っています。

平成 22 年度は従来と同様、関西広域機構の活動に積極的に参画しました。同機構の提唱する「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視しました。

また、グリーン購入活動の推進などについても P R 啓発活動に取り組みました。

平成 23 度は、「夏季の適正冷房と軽装勤務」の取り組みとして、適正冷房、軽装などの会員企業等への呼びかけを重視します。またグリーン購入活動の推進などについても P R 啓発活動に取り組んでいく予定です。

今後は多様な環境問題について自治体や他の経済団体との連携活動をより重視していきます。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> III

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> III

団体名 大阪商工会議所

HP <http://www.osaka.cci.or.jp/>

大阪商工会議所は、会員企業の環境課題への対応に役立つ事業を様々な形で提供しています。

平成 22 年度は、環境施策の動向や環境経営の事例を 10 回シリーズで紹介する「環境問題研究会」をはじめ、「レアメタル・レアアース」の対策動向など環境関連の最新情報をタイムリーで紹介する「環境推進関連セミナー」を開催し、広く会員に情報提供を行いました。

また、経営者、経営幹部や環境部門責任者等を対象に、中小企業においても押さえておくべきと思われる重要な環境法令や、それらの情報収集方法を分かりやすく解説する「中小企業のための環境法基礎講座」を開催したほか、「改正『省エネ法』・『温対法』対策実務講座」も開催し、両法の改正により初めて規制対象になる企業を中心に、法令の概要や企業の対応ポイント等を解説しました。

「夏季の適正冷房と軽装勤務」は 6 月 1 日～9 月 30 日にかけて実施しました。適正冷房（28℃）の推進と軽装勤務の奨励は、事務局における実施だけでなく、広報誌「大商ニュース」やHPを利用して会員企業への実施呼びかけ、館内随所にポスターを掲示しPR活動を行いました。

平成 23 年度も、「環境問題研究会」や「環境推進関連セミナー」等を通じて企業経営に必要な環境関連情報を提供するほか、「夏期の適正冷房と軽装勤務」も引き続き実施する予定です。

また、水ビジネス分野への進出や水関連の機器・技術の向上を目指す府内企業を支援する事業や、創エネ・省エネ、環境先進対応など、環境・エネルギーのより広い分野で、アジア諸国に負けないハイエンド技術の開発、製品の創出を目指す事業も積極的に行う予定です。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、その他

**団体名** 社団法人 大阪府工業協会

**HP** <http://www.opmia.or.jp>

平成22年度は、グリーン購入、スイッチオフ、アイドリングストップの推進について周知する従前の活動に加え、事業者団体ならではの取り組みとして、企業における環境保全活動を支援するための情報提供や講習を行いました。その一端を下記に記します。

**【省エネルギー対策への支援】**

事業所における省エネルギーの推進は、企業の社会的責任として必須のテーマですが、何にどう取り組めば良いかの情報が不足しています。そこで、特に生産部門での省エネの具体的な方策について掘り下げ、研究会形式の情報提供を行いました。

照明、空調、モータ、ポンプ、コンプレッサ、ボイラといった工場内の各設備・機器に的を絞り、費用対効果を含めた省エネ改善の方法を学んでいただくことができました。

**【環境経営の取り組み事例を機関誌で広報】**

企業にとっての懸案事項は、環境対応と事業活動の両立です。実際、環境貢献を率先しつつ、廃棄物などのロスを減らす、資源のリサイクルなどでコストを削減する、或いは環境技術をベースに新たなビジネス展開を図るといった取り組みが、各社で始まっています。そうした事例を協会機関誌で紹介することで、会員事業所での取り組みの参考としていただくことができました。

**【エコカーなど自動車分野の環境技術を紹介】**

平成22年は、新しいハイブリッド車の市場投入や世界で初めて電気自動車の量産が開始され、「エコカー元年」と呼ばれました。自動車分野の環境技術は日本が世界をリードする立場にあり、業種を問わず企業の関心が高まっています。そこで、今回は自動車メーカーや部品メーカー、大学教授から技術解説を聴いたり、実際の生産工場を見学したりといった勉強会を行いました。環境技術の先進性とその用途を具体的に理解していただくことで、自動車の低費向上や脱化石燃料化の促進が期待されます。

平成23年度は、協会機関誌による地球環境問題への啓発活動を継続して実施するとともに、前年の研究会や情報提供活動が好評だったことから、継続して実施できるものは、内容を工夫して新しい情報を取り入れて実施していきます。

なお、新しい取り組みとして、「新エネルギー」をテーマにした啓蒙及び情報収集の場を開設します。これからは省エネルギーへの社会的要請がさらに強くなることが確実で、かつ家庭部門の省エネがターゲットになってきます。生産部門での省エネが相当進んできたことと比して家庭部門にはまだまだ改善余地があるため、この分野の技術開発には課題が山積しています。

当協会では、事業者団体として、今後、企業が注力すべきエネルギー関連の環境技術についての情報提供に努めていきたいと考えています。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

**団体名** 大阪府中小企業団体中央会  
**HP** <http://www.maido.or.jp/index0.html>

平成22年度は、中小企業の温室効果ガス排出削減対策の柱である「国内クレジット制度」を活用して一部組合に対し事業支援するとともに、本会の機関紙、ホームページ及びメールマガジン等を活用し環境に関する施策の情報提供や豊かな環境づくりについての啓発に努めました。

また、「エコアクション21認証・登録制度」について、本会として今後積極的な推進に向けて情報の収集や関係機関との協議を行いました。

平成23年度は、中小企業において取組みが遅れている温室効果ガス排出削減対策の柱である「国内クレジット制度」や「エコアクション21認証・登録制度」など、組合等が今後重要な役割を果たすものと期待されている施策について積極的な支援活動を実施します。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、その他



平成22年度は、

I、日本百貨店協会として全国統一で、各百貨店の環境対策担当者を中心に「百貨店のための地球温暖化対策セミナー、低炭素社会を考える」と題して、各省（経済産業省、資源エネルギー庁、環境省 等）の方にお越し頂きレクチャーを受ける。

II、店舗のCO<sub>2</sub>の削減に向けた取組として、

(1) 「夏の冷房温度緩和」を6月1日～9月30日まで全国の百貨店を対象に冷房温度を弱めに設定（目安として2度程度緩和）。

①統一ポスター、②加山雄三氏による店内放送での呼びかけ、③新聞、折り込み、チラシなどで周知。

(2) 「ライトダウンキャンペーン」を6月21日夏至の日、7月7日七夕の日に実施。

III、容器包装の削減と温暖化ガスの削減の取組として、

「デパートでも、マイバック」「デパートへも電車とバス」のポスターを店内に掲示してPRを展開。

IV、スマートラッピングの普及推進

「スマート・クール・バック」（保冷タイプ、カーボン・オフセット付き）を作成して全国の百貨店で300円にて販売。

平成23年度も、基本的には、22年度実施をベースに継続する。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III

団体名 日本チェーンストア協会関西支部

HP <http://www.jcsa.gr.jp/topics/environment/circulating.html>

H22年度はレジ袋の削減の取組として、行政・市民団体と会員各社との協定締結や協働で店頭キャンペーンを実施して啓発に努めました。また、チェーンストア協会全体ではマイバッグの持参率が12月度末で29.38%まで上昇しました。

また、ゴミの減量化・廃棄物の削減の取組として通常の店頭回収品目（ペットボトル、トレイ、缶、牛乳パック）とは別に、一部行政では使用済みのインクカートリッジの里帰りプロジェクトに参加・協力を実施しました

地球温暖化対策として、会員会社において店舗の省エネ設備の更新や新規導入等の実施により、省エネに取り組みました。

H23年度は引き続きマイバッグの持参運動を行政・市民団体との協働で実施する予定です。

また、ゴミの減量化対策として売場内での盛売り・量り売りの品目拡大と同時に、使用するトレイの肉薄化・軽量化を図ります。

食品リサイクルの対応として、廃棄物の発生抑制に努めることで食品リサイクル率の向上を図ります。

地球温暖化対策として、引き続き省エネ設備の更新や無駄の排除により省エネに努めます。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、その他

**団体名 大阪府小売市場総連合会**

**HP**

平成 22 年度は、

- ごみ減量化推進運動として通年にわたり消費者に協力を呼びかけマイバックの持参、包装紙の簡素化を推進しました。
- ごみの減量化、リサイクルの推進を図るため、理事会等の会員が集まる会議で環境問題を取り上げ、啓発を行いました。
- 小売市場周辺路上における違法駐輪の防止を消費者に呼びかけるとともに駐輪場の整理整頓を実施しました。

平成 23 年度は、平成 22 年度と同様な施策を実施する予定です。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> II、III、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> II、III、その他

**団体名 大阪府商店街連合会**

**HP**

平成 22 年度は、平成 23 年 2 月の役員研修会において、「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知した。

平成 23 年度は、理事会、役員研修会等において「豊かな環境づくり大阪行動計画」を配布周知するとともに、会員には機関誌「府商連新聞」において周知啓発する。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> V、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> V、その他

☆ 関連団体等 ☆☆

団体名 地球環境関西フォーラム

HP <http://www.global-kansai.or.jp/top.htm>

平成22年度は、主に以下の活動を実施しました。

○実践活動

- ・民生分野における温暖化防止施策の支援  
関西うちエコ診断推進協議会（9月設立）への参加、同協議会の枠組みでのうちエコ診断の普及促進方策の検討等
- ・第7回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施  
過去最多となる応募303作品の中から優秀な作品を選定し表彰するとともに、これらを公共施設等で展示

○情報発信

- ・シンポジウム等の開催  
地球温暖化対策シンポジウム（シリーズ第5弾）、生物多様性保全シンポジウム
- ・循環型社会形成に向けたライフスタイルに変革することをめざした市民講座の開催
- ・ホームページ（以下HP）、冊子による情報発信
- ・地球環境100人委員から市民一人ひとりに向けた環境提言や意見をHP、冊子「地球環境関西フォーラム通信」で発信
- ・HPコンテンツ「エコロジカルな住宅と住まい方」に、関西2府4県およびその府県下の市の住宅向け環境関連補助・助成制度についての情報を付加

○連携・国際協力

- ・「第3回日越環境ワークショップ」の開催  
持続可能なまちづくりに関して情報交換を実施
- ・中堅企業セミナーの開催  
関経連と共催で、エコアクション21と省エネに関するセミナーを開催

平成23年度は、地球温暖化対策、低炭素社会や循環型社会の構築、持続可能な都市再生、生物多様性保全、環境技術面でのアジアへの貢献や環境意識啓発などに関し、これまで行ってきた基本的な施策を、大学、自治体、産業界、NGOその他の機関と連携を図りつつ、継続実施する予定です。

併せて他組織と連携しながら、地域を基盤とする市民への環境啓発事業に視点を当てた取り組みを引き続き展開・支援していく予定です。

○実践活動

- ・民生分野における温暖化防止施策の支援（関西うちエコ診断協議会の枠組み活用）
- ・第8回“若者によるエコ・メッセージ”ポスターデザイン公募事業の実施

○情報発信

- ・地球温暖化対策シンポジウム（シリーズ第6弾）の開催
- ・循環型社会形成に向けたライフスタイルに変革することをめざした市民講座等の開催
- ・HP、冊子による情報発信（「エコロジカルな住宅と住まい方」の更新等）

○連携・国際協力

・「第4日越ワークショップ」、中堅企業セミナーの開催

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、V、その他

**団体名** 財団法人大阪みどりのトラスト協会

**H P** <http://www.ogtrust.jp/>

財団法人大阪みどりのトラスト協会は、大阪府内に残された貴重な自然環境を保全するとともに、「緑の募金」運動を通じて市街地の緑化を推進し、みどり豊かで快適な環境づくりに寄与することを目的とした事業を実施しています。

平成22年度は、自然環境保全のシンボル事業である「和泉葛城山ブナ林」や「三草山ゼフィアスの森」での保全活動に取組むとともに、その他大阪府自然環境保全地域（5箇所）への保全助成、能勢町地黄湿地、和泉市信太山惣ヶ池湿地等の貴重な自然環境の保全活動（4箇所）、能勢町歌垣の森等での里山保全活動（6箇所）について、地元住民、ボランティア団体、企業ボランティアの方々とともに保全作業や生き物調査、自然観察会等を行いました。

また、COP10開催を契機とした生物多様性保全活動として、新たに能勢町の遊休農地を活用した水田生物の多様性の復元事業にも取組み始めました。更に、次代を担うボランティアの育成のため、学校教育との連携を図るとともに、大阪府緑の少年団の育成や、「里山ボランティア養成講座」、「森人塾」の開講により新たなボランティアの発掘と育成を図りました。

「緑の募金」事業では、市街地の緑化活動、里山の森林整備、学校ビオトープづくり等を行うNPOやボランティア等の活動に助成するとともに、教育施設での木の香る快適な学習環境づくりにも助成を行いました。

平成23年度は、国連が定める「国際森林年」であるとともに、2011年から10年を「国連生物多様性の10年」と位置づけられていることから、これまでの貴重な自然環境の保全活動はもとより、生物多様性保全への取り組みを更に推進し、自然との共生に向けた地域づくりを促進することとしています。また、森づくり活動や自然体験活動を通じて地域の学校との連携した環境学習を進めるとともに、企業CSR活動のフィールドとして活動地の活用を図り、新たなボランティアの発掘、育成に努めます。

「緑の募金」事業においては、NPOやボランティア団体等が行う市街地の緑化や森林の整備、学校ビオトープづくりに対し助成を通じて緑化活動や里山の保全活動等による地球温暖化防止のための府民運動を推進します。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、III、V

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、III、V

●平成22年度は以下の4項目を実施した。

(1) 家庭分野の二酸化炭素排出削減事業の実施

環境省からの補助事業を活用し、家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、導入可能な対策メニューと、削減したエネルギーにより節約される経費による投資回収見通し等を提案する「うちエコ診断」を実施し、ライフスタイルの改善やエコ家電の導入等によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進した。

(2) 大阪府との連携

- ・「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などの地球温暖化対策地域協議会に参画し、省エネ型の機器に更新する事業などを支援した。
- ・エコ燃料の利用を促進するため、広報・情報収集・発信などに取り組んだ。
- ・カーボンオフセット・クレジットの創出・活用を促進するため、中小企業者を対象とした大阪版カーボン・オフセット制度を推進した。

(3) フードマイレージの削減

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行った。

(4) 万国博覧会記念機構と協働した温暖化防止啓発事業

地域で取り組まれている温暖化防止の取組みを水平展開するため、万国博覧会記念機構が主催する事業と協働し、それらの取組みの発表会を開催し、来場者に対する啓発活動を行った。

また、大阪府地球温暖化防止活動推進員と連携し、万博記念公園内で開催された催しで、自然エネルギーの活用をとおした温暖化防止啓発活動を行った。

●平成23年度の活動予定

大阪府地球温暖化防止活動推進センターは、地球温暖化防止への取り組みに対する府民の参加を促すため、複数のNPOを事業主体とした学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO<sub>2</sub>削減事業を推進するための事業を実施する。

また、家庭分野のCO<sub>2</sub>排出削減を目的とした事業に取り組むとともに、大阪府と連携した「大阪版カーボン・オフセット制度」の推進、その他のCO<sub>2</sub>排出抑制事業を実施する。

(1) 地域で活動するNPO支援・連携促進事業

複数のNPOを事業主体とした学校、企業、地球温暖化防止活動推進員等を構成員とするコンソーシアムを設置し、草の根のCO<sub>2</sub>削減事業を推進する。

(2) 家庭のエコ診断事業

家庭から排出される温室効果ガスを定量化し、導入可能な対策メニューと、削減したエネルギーにより節約される経費による投資回収見通し等を提案することで、ライフスタイルの改善やエコ家電の導入等によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進する。

(3) 大阪府との連携

- ・カーボンオフセット・クレジットの創出・活用を促進するため、中小企業者を対象とした大阪版カーボン・オフセット制度を推進する。
- ・「大阪府省エネ外食店舗普及推進協議会」などにおいて、省エネ機器の導入による効果把握調査等を支援する。

(4) フードマイレージの削減

地球温暖化防止活動推進員や他団体と連携して作成したフードマイレージ学習教材を用いて、府民のフードマイレージへの理解を高めるとともに、買い物に係る自転車や公共交通機関の利用を促進するための啓発活動を行う。

(5) 節電対策の推進

東日本大震災の影響を受け、深刻な状況にある電力事情を踏まえ、全国の地球温暖化防止活動推進センターと連携し、「節電共同行動」として、『家庭ですぐ出来る節電 21』等、大阪府民に対する節電対策の啓発活動を行う。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ、その他

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅲ、Ⅳ

**団体名** 大阪府リサイクル社会推進会議

**HP** <http://www.epcc.pref.osaka.jp/warec/index.html>

(平成 22 年度活動報告)

平成 22 年度は、平成 21 年度に引き続き、「ごみ減量化・リサイクルアクションプログラム」の普及・啓発及び進行管理に重点をおいた取り組みを進めてきました。

住民団体、事業者、行政において様々な取組みがなされており、今後、それぞれの連携を強化するとともに、さらに多くの事業の具体化が図られるよう、推進方策を検討し、実施していきます。

「環境にやさしい買い物キャンペーン」及び「NO!!レジ袋デー」を実施し、当推進会議で進める「エコショップの普及促進」や「マイバック持参運動の推進」に幅広く効果がみられました。今後ともより一層の連携・協働を深め、事業を実施していきます。

(平成 23 年度活動方針)

住民団体・事業者団体・府・市町村等で構成する大阪府リサイクル社会推進会議は、「ごみ減量化・リサイクルアクションプログラム」に基づき、住民・事業者・行政がそれぞれの役割分担の下に、リサイクル社会の推進に向けたパートナーシップによる取り組みを進めます。

平成 23 年度は、平成 22 年度に引き続き共通テーマの「低炭素社会への転換」及び「循環型社会の構築」への取組強化の認識のもとに、構成団体を中心に簡易包装・マイバックの持参の推進やエコショップ制度の普及など、共通行動メニューに基づく事業を実施するとともに、リサイクル社会を推進するための各種調査や地域に根ざした啓発活動などに力を入れて取り組みます。

<平成 22 年度に取組を行った重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ

<平成 23 年度に取組を行う重点行動の項目番号> Ⅰ、Ⅱ

**団体名** 大阪自動車環境対策推進会議

**HP** <http://www.pref.osaka.jp/kotsukankyo/hai gasu/sui si n. html>

**【平成22年度活動報告】**

大阪自動車環境対策推進会議は、大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化防止に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進しています。

平成22年度は、環境にやさしいエコカー（ハイブリッド自動車、天然ガス自動車、電気自動車、クリーンディーゼル乗用車、プラグインハイブリッド車、超低燃費車等）の包括的・中長期的な普及戦略である「大阪エコカー普及戦略」に基づき、エコカーの普及促進を図りました。

また、物品の配送に低公害車等を使用する「グリーン配送」について、「大阪グリーン配送推進運動」を推進することにより、荷主、発注者と物流事業者の協同による取り組みの拡大を図りました。

平成17年度に策定した「大阪エコドライブ推進方針」に基づき、環境にやさしい運転方法である「エコドライブ」について、ポスター・リーフレット等を用いた啓発活動による府民・事業者への普及や拡大を図りました。

さらに、上記の取組みに加えて、公共交通機関の利用促進、流入車規制などについて、府民、事業者に対する啓発活動を行いました。

**【平成23年度活動方針】**

大阪における自動車排出ガスによる大気汚染や自動車騒音等の自動車公害対策や、地球温暖化防止に資する自動車からの二酸化炭素排出抑制対策について、官民が一体となって、総合的な施策を推進していきます。

平成23年度は、事業者におけるエコカーの活用やエコドライブの実践を促すため、これまで実施してきた「大阪グリーン配送推進運動」などを拡充した「交通エコチャレンジ推進運動」を立ち上げ、当該運動に取り組む事業者を募集・登録するとともに、登録事業者名やその取組内容等をホームページなどで公表します。また、優れた取組みを行っている事業者の顕彰方法等についても検討します。

また、エコカーの普及、流入車規制、公共交通機関の利用促進等について、ポスターやリーフレット、構成員の広報誌や機関誌、研修会等を通じて、事業者や府民に対する啓発活動を行います。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> IV、その他

<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> IV、その他



**団体名** 大阪美しい景観づくり推進会議

**HP** [http://www.pref.osaka.jp/kenshi\\_kikaku/keikan-ustukushi/suishinkai.html](http://www.pref.osaka.jp/kenshi_kikaku/keikan-ustukushi/suishinkai.html)

平成22年度は、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会等の取り組みにより、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進してきました。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」の更なる活用に向け、私鉄を中心に働きかけを行いました。今後も関係機関等への働きかけを続け、府民と一緒に大阪の景観について考え、美しい景観づくりの推進に努めます。

今後もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

大阪美しい景観づくり推進会議は、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを、より実効性あるものとして推進していくために、共通目標の設定や情報交流、ネットワーク化などによる、景観づくりの取り組みを進めています。

平成23年度は、昨年度に引き続き、大阪美しいまちづくりニュースの発行や参画団体の取り組み内容の情報発信、景観づくり研修会等の取り組みにより、広く府民や事業者等との協働を進めながら、景観づくり活動を推進していきます。

また、大阪府内にある美しいまちなみを改めて見つめなおし、守り育てるため、また、広く知ってもらうため、府民投票等より平成18年度に選定した「大阪まちなみ百景」の更なる活用に向け、さまざまな利用を検討し実施していきます。

更に情報発信についても、より多くの人に知ってもらえるような仕組みづくりへと変更していきます。

今年度もより一層、府民・事業者・行政の協働による景観づくりを推進するとともに、積極的な情報発信に努め、「美しい世界都市大阪」の実現を目指します。

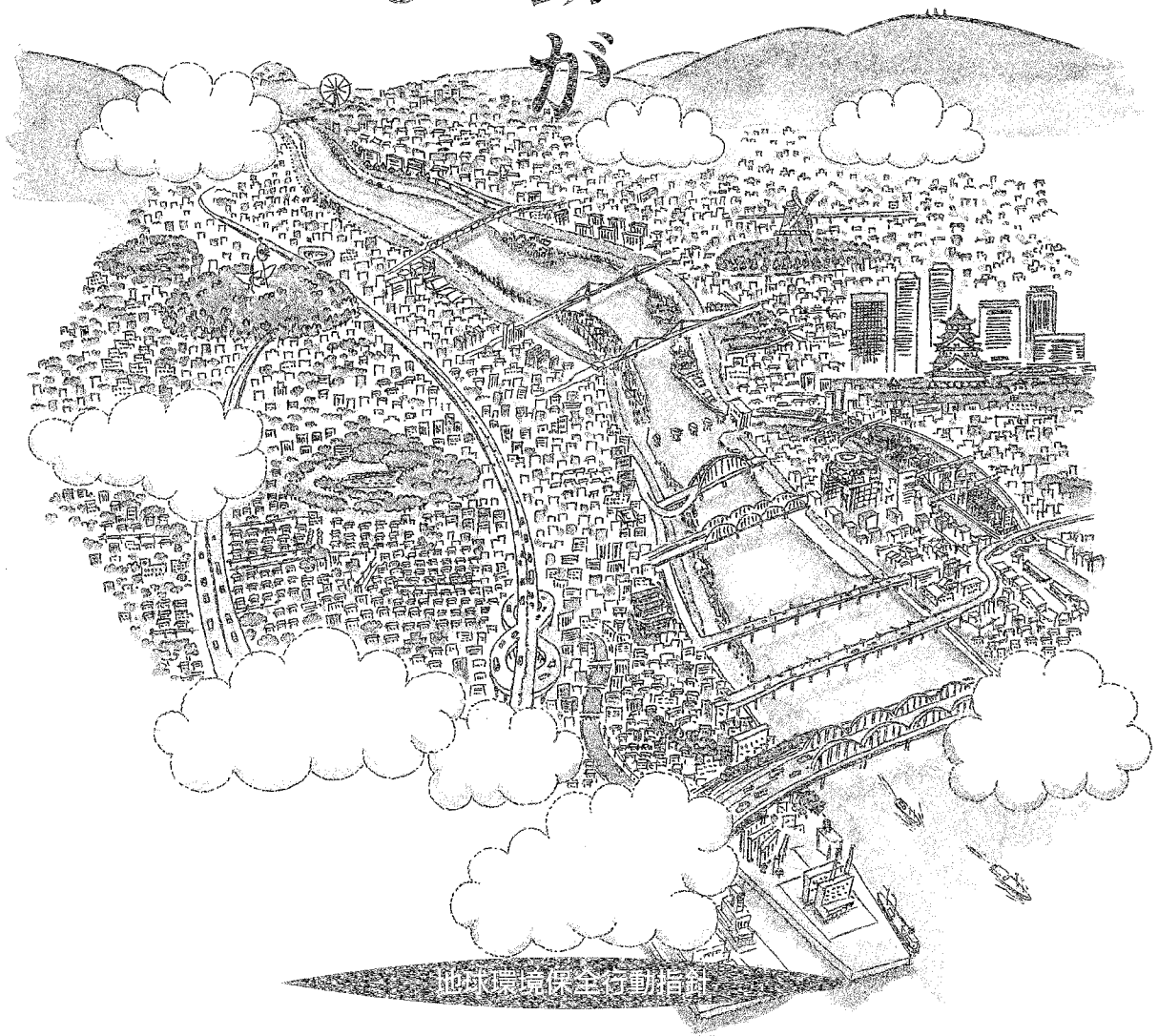
事務局では、引き続きグリーン購入推進運動やスイッチオフ推進運動に取り組むとともに、参画団体に対しても共通行動の実践を呼びかけていきます。

<平成22年度に取組を行った重点行動の項目番号> I、II、III、その他

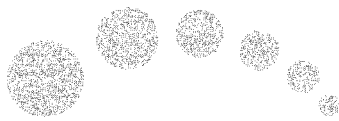
<平成23年度に取組を行う重点行動の項目番号> I、II、III、その他

# 【資料編】

身近な環境  
愛する心と行動が  
地球環境を守る



## はじめに



あふれるような緑、鳥やトンボたちが自由に青い空を舞い、きれいな川には魚が泳いでいる、多くの生命が輝いている環境。それは、私たち人間にとっても、心地よい豊かな環境です。大都市に生活する私たちも多くの生物の一員であり、自然の微妙なバランスの中で生きているからです。

私たち人間は豊かな自然の仕組みを上手に利用することによって、暮らし、活動してきました。大阪は、そんな人々の営みの長い歴史を通して発展してきたまちです。

大阪ではこの100年の間に急激に都市化が進み、便利で快適な生活に、私たちは大きな自然の恵みの中で生きていることを忘れがちになっています。そして、大量にモノが生産・消費され、ゴミとなって廃棄されるなど、私たちのいろいろな活動が、かけがえのない地球の環境を壊しはじめています。

以前、身近に見かけたメダカやトンボ、カエルが、今ではあまり姿を見せなくなっています。きれいになったようにみえる川も、川底が汚れていたり、川に住む生き物が産卵する場所やエサになる生物が見つからないなど、生息しにくい環境になっているのです。そして、多くの生命を育む緑も減ってきています。

でも、淀川では、ワンドにいる魚や渡り鳥、風にそよぐヨシ原を見つけることができます。そして、秋には美しく彩られる山もあります。

私たちが受け継いだ自然の恵みを子どもたちに伝えていくために、もっと、身近な環境を愛する美しいまちにするために、まちや暮らしを自分の感覚で感じてみませんか。

そして、豊かな環境を実現し、美しい地球を守るために、大阪人らしい合理的な精神と具体的な行動で、できることから始めてみませんか。

## 歩く、みる、感じることから始めませんか。

身近なところを歩いたり、みたり、感じたりしてみませんか。そして、日々の生活をみつめてみませんか。

「環境問題なんて自分とは関係ない、自分一人で考えてもしかたがない」と、

思われるかもしれません。でも、ほんとうにそうなのでしょうか。

自分のいるまちや、身近な自然がもっと良くなれば、という思いはだれもがもっているはずです。

もっと、良くするために、もう一度、身のまわりのようすや自分の暮らしぶりなど、

身近なことから振り返って、そして、みんなで考えてみませんか。

まず、自分の眼でみて、自分の感覚で、感じることから始めてみませんか。

あなたのいる  
まちをゆっくりと  
歩いてみませんか

- 家や職場のまわりを観察してみませんか
- まちの中をゆっくり歩いてみませんか
- 夜空を眺めてみませんか

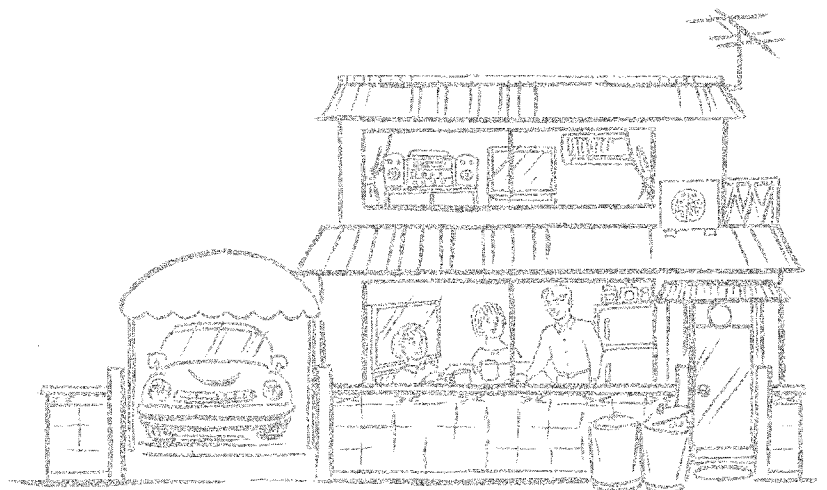
身近な自然に  
ふれてみませんか

- 近くの川や池、海に行ってみませんか
- 周辺の野山をハイキングしてみませんか

暮らしや  
行動スタイルを  
みつめてみませんか

- 便利で快適な生活をみつめてみませんか
- 自らの行動スタイルをみつめてみませんか

あなたのまちや、身近な自然、  
暮らしや行動スタイルを、  
少し視点を変えて眺めてみませんか。



## 身近な環境はどのようにみえますか。 暮らしや行動スタイルはどうですか。

見なれたまちや公園、いつもどおりの生活。  
でも、少し気分や視点を変えて身のまわりのようすをみると、  
いろんな新しい発見や疑問がでてくるのではないのでしょうか。  
知らず知らずに見過ごしていることはないですか。

### あなたのいる まちはどうですか

- 街なみや家なみはどうですか
- 並木道や生け垣はありますか
- 電柱や看板はどうですか
- 交通渋滞や不法駐車はありますか
- ゴミや空き缶が落ちていませんか
- においや音はどうですか
- 星座はいくつみえますか

### 身近な自然は どうですか

- 近くの公園や野原はどうですか
- 畑や田んぼのあぜ道、水路はどうですか
- 近くの山や森は秋に色づきますか
- トンボやチョウ、ホタルはみつけられますか
- どんな鳥や魚がいますか
- 川や池のそばに近づくことができますか
- 川や海の色は何色ですか
- 自然の砂浜や磯はありますか

私たちはいろんなことでまわりの環境に影響を与えています。  
例えば、何気なく使っているモノでも、それを作るとき、運ぶとき、  
捨てるときにおきるいろんなことを考えてみましょう。

### 暮らしや 行動スタイルは どうですか

- モノやエネルギー、水を大切に使っていますか
- 近くへ行くのに自動車を使っていませんか
- ゴミにならないモノ、環境にやさしい商品を選んで買っていますか
- 資源の回収やリサイクルをしていますか
- 適正な包装にしていますか
- 油を直接、台所の流しに捨てていませんか
- 環境にやさしい製品づくりやサービスをしていますか
- 環境にやさしい活動に参加していますか
- 環境教育などに取り組んでいますか

（何か新しい発見や疑問がありましたか。  
どのように感じましたか。）



## どうあればいいと思いますか。

子どものころや昔のようす、いろんなまちや自然のようす、  
思い出したり、くらべてみるうちに、  
「まちや身近な自然がこうだったらいいな」、「これから、こんなことを始めよう」など、  
いろんな思いに気付く人が多いのではないのでしょうか。

### こんなまち だったら

- 気持ちのいい美しいまち
- もう少しゆとりのあるまち
- 人に迷惑をかけないまち
- .....
- .....

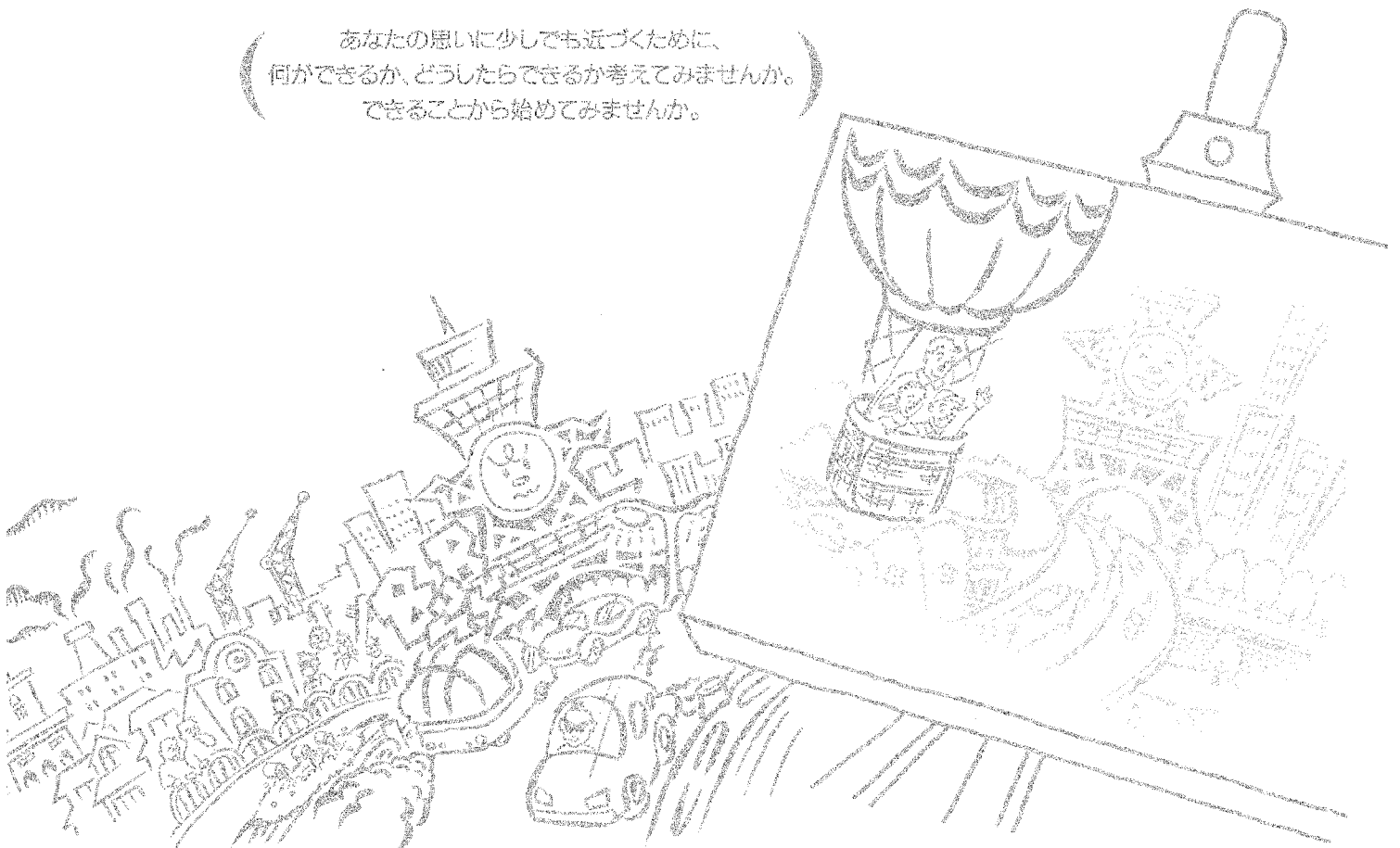
### こんな身近な 自然だったら

- 小さな自然の営みを感じられたら
- 美しく変化する自然の姿を楽しめたら
- 自然のやすらぎを感じられたら
- .....
- .....

### こんな暮らしや 行動スタイル だったら

- モノや水、エネルギーをもっと節約できたら
- ゴミを減らしたり、リサイクルがもっとできたら
- 環境にいいことをみんなで考えたり、始められたら
- .....
- .....

あなたの思いに少しでも近づくために、  
何ができるか、どうしたらできるか考えてみませんか。  
できることから始めてみませんか。



## 私たちはこんなことに取り組んでいます。

環境を良くするために、いろんな取り組みが始まっています。

私たちが取り組んでいる環境にやさしい行動を中心にまとめてみました。

### 美しいまちづくりを進めています

- 近くの公園の掃除をしています
- 空き缶を拾い集めています
- 捨てられた自動車の問題について調べています
- 違法駐車をなくすよう取り組んでいます
- 自動車使用の合理化を呼びかけています
- 美しい景観づくりを進める運動をしています

### 自然を大切にしています

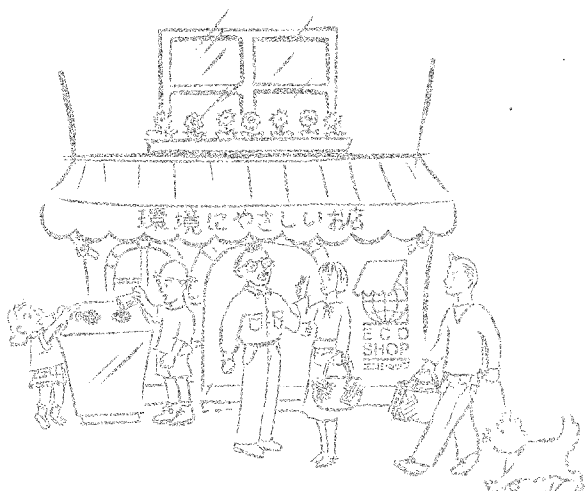
- 花や緑を植えています
- 野鳥の観察など野外で自然への理解を深めています
- プナ林や貴重なチョウを守るためにトラスト運動を進めています
- 貴重な自然を守るために、データの収集をしています
- 河川浄化のための活動を進めています
- 環境にやさしい農業に取り組んでいます

### 暮らしや行動スタイルをみなおしています

- 古紙回収などのリサイクルを実践しています
- 包装紙・トレイなどのゴミ問題に取り組んでいます
- 簡易包装を進めています
- 再生品の利用を進めています
- 節水や節電を進めています
- エコマーク商品や低公害車の購入を進めています
- 環境にやさしい商品を販売するエコショップを展開しています
- 社内で環境管理や環境監査に取り組んでいます

### 行動の輪を広げています

- 取り組みや調査結果をレポートし配付しています
- シンポジウムの開催など啓発活動をしています
- 子どもたちが遊びを通じて環境を学習できる機会をつくっています
- 環境教育の指導者育成や従業員教育をしています
- 情報交換をしています
- 草の根レベルの活動を支援しています
- 地域の活動と連携しています
- 国際的な交流や協力などに取り組んでいます



いろいろなことを、もっとたくさんしていきたいのです。

「まちや自然、暮らしや行動スタイルがこうだったら」

との思いを実現するために、

みんなと一緒に取り組んでいきませんか。



## みんなて取り組んでいきませんか。

一人でもできることがあります。

例えば、環境を考えた日常の買い物や生活の仕方などです。

そして、さらにみんなて取り組んでいけば、

もっとたくさんの方ができるとは思いませんか。

### 自分の身のまわりでは

- これからやりたいこと、やって欲しいことを話しあいませんか
- 身のまわりのこと、みんなてできることを考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互いに協力しながらみんなて取り組みませんか
- もっと多くの人に参加することの楽しさを伝えてみませんか
- いろいろな行事に気軽に参加してみませんか
- いろいろな情報を広めてみませんか
- どれだけできたか、話し合ってみませんか
- 取り組んできたこと、集めた情報を将来の世代に伝えませんか

### お店や会社などでは

- 環境にやさしいサービスや商品になっているか調べてみませんか
- 生産から廃棄まで、環境にやさしい製品とは何か考えてみませんか
- 環境にやさしいサービスや製品づくりで実現できることは、すぐに実行しませんか
- 連携したらできることは、一緒に取り組みませんか
- 地域の一員として環境保全活動に参加しませんか
- 取り組んでいる環境保全活動をPRしませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境を大切にするお店や会社になれるような体制にしませんか

### 地域づくりでは

- 地域の人が、どのような環境を求めているか調べてみませんか
- 環境にやさしい地域がどうしたらできるか考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりを進めませんか
- みんながもっと取り組めるよう情報を広めませんか
- 環境学習や教育、啓発を進めませんか
- 地域活動やエコビジネスを支援しませんか
- どれだけできたかを調べて、もっとできるように考えてみませんか
- 環境にやさしい地域づくりができる体制やルールをつくりませんか

（テーマを毎年決めて、お年寄りも障害を持つ人も  
子どもたちも一緒になって  
みんなて取り組んでいきませんか。）

## 行動の輪を広げませんか。

取り組みの輪を大阪全体に広げてみませんか。

私たちの日々の生活は日本中の、そして世界中の人と資源によって支えられています。

そして、私たちの環境も、他の地域や世界と密接に関係しています。

日本中の、そして世界中の人の暮らしや環境も、大阪と同じように大切なものです。

それぞれができることを、お互いに協力しながら取り組んでみませんか。

### 取り組みの輪を 大阪全体へ 広げてみませんか

- 地域の人やお店や会社、グループが一緒になって取り組んでみませんか
- 取り組みの輪を、地域から市町村全体に、そして大阪府全域に広げてみませんか
- いろいろな取り組みを一つの大きな力にして、豊かな環境都市大阪をつくっていきませんか

### さらに、日本中の、 世界中の人と 取り組んで みませんか

- 日本中の、世界中の人がどんな取り組みをしているか学んでみませんか
- 大阪でやっていることを知ってもらいませんか
- 協力してできることは何か考えてみませんか
- それぞれのできることを、お互い協力しながら取り組んでみませんか

（ いろんな地域や国々の人、グループ、企業、自治体との出会いでは、まず相手のことを知り、自分たちのことを知ってもらうことが第一歩です。その中から、新たな輪を広げていきませんか。 ）

身近な信頼を要する心と行動。その輪の広がりや地球環境を守る



## みんなの行動が地球環境を守ります。

「お月さんが笠をかぶると明日は雨」、「なすびの豊作は稲の豊作」、「木のてっぺんの柿は鳥の神さんに」。かつて日本では、いろいろないいつたえやことわざで自然の仕組みを教え、人々は自然の循環を上手に利用することで豊かな自然と共に暮らしてきました。そして、モノの命を大事にし、恵み深い自然、恐ろしい自然を日々の生活に感じていました。

現在の私たちは、どうでしょうか。何気なく読んでいる新聞や雑誌、おいしくいただいている食事、快適なドライブ。豊かな生活を支えるための生産活動や流通。それらに使う資源やエネルギーの多くは、世界中から大坂に集められたものです。

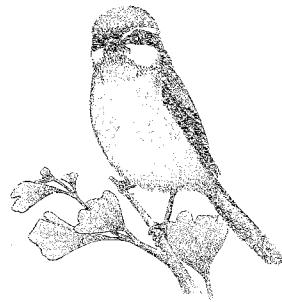
何気なく送っている生活や活動によって、世界の人々の暮らしや、森林や海動物などの生命に大きな影響を及ぼすだけでなく、将来の世代にも影響を与えると心配されています。昔の生活で大切にされていたもの、時間のゆとりや自然の豊かさ、人間関係の細やかさ、そういうことが、本来の豊かな生活だということを、もう一度、思いなおしてみませんか。今までどおりの生活を送っているのは、私たち人間が生活できる地球ではなくなるかもしれません。

身近な環境を、自分の眼でみて、感じる。暮らしや行動スタイルをみつめる。そして、新しい発見や疑問に気付くことで、環境を良くしていくために、暮らしや行動について、できることから具体的に取り組みを始めていく。そんな、小さな取り組みが積み重なって大きな力となり、地球環境を守ることになると考えています。

————— 小さな行動の一つひとつから地球にやさしい 環境都市・大坂 —————  
————— 身近な環境を愛する心と行動 その輪の広がりか地球環境を守る —————  
————— 限られた地球 その豊かさを引き継ぐ美意識 シンプルライフ —————

私たちは、今後、この行動指針をもとに目標を決め、  
その実現のために具体的な行動計画をつくって、  
実践的な取り組みを始めていきます。

みんなで取り組みませんか。



豊かな環境づくり大阪府民会議

# 大阪 21 世紀の新環境総合計画（概要）

## ■計画の位置づけ

豊かな環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、環境基本条例に基づき策定するもの。また、大阪府の 2025 年の将来の姿を現した「将来ビジョン・大阪」に示された「水とみどり豊かな新エネルギー都市」実現の道筋を具体化し、広く大阪府の環境施策に関する基本方針や具体的手順を示すもの。

## ◇大阪府の環境を取り巻く課題

### 地球温暖化の防止

世界の温室効果ガスの排出量は、工業化以降、人の活動により増加しており、このまま放置すると、世界の気候システムに多くの変化が引き起こされる可能性があるとして報告されている。高度に都市化が進み、様々な産業が集積している大阪からは、温室効果ガスが多く排出されている。

### 資源の循環的利用

わたしたちの暮らしを支えている鉱物・石油などの天然資源は有限である。人口の集中する大阪では、多くの資源が消費されており、家庭や事業場から出る廃棄物は、リサイクルや減量化された後、大阪湾に設けられた処分場等に最終処分されているが、その容量には限界がある。

### 生物多様性の保全

人の活動の影響等により、多くの生き物が絶滅の危機に瀕しており、生物多様性の保全が課題となっている。大阪では都市化の進展等によって良好な生息環境が損なわれ、人と自然のつながりも希薄になっている。

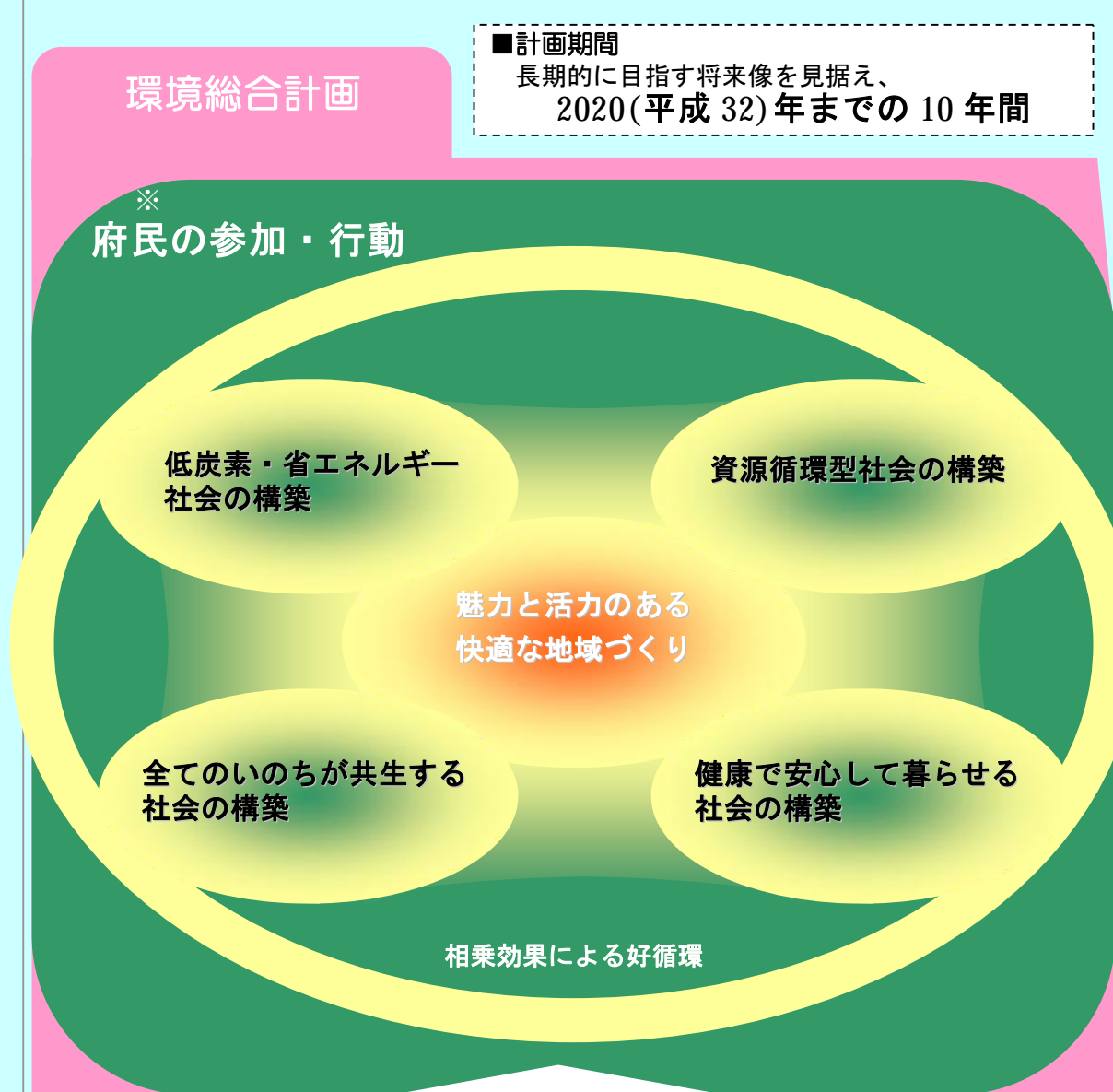
### 健康的な暮らしの確保

大気環境や水環境は改善が進んでいるが、光化学オキシダントや大阪湾の水質など、環境保全目標の達成が困難な項目もある。また、事業活動や日常生活の中で、様々な化学物質が製造され、使用されており、環境や人への影響が懸念されるものもある。

### 魅力と活力ある快適な地域づくり

大阪は、多くの人々が住み、働き、訪れる地域であるが、ヒートアイランド現象、騒音・振動等の都市特有の問題や、「みどりが少ない」、「雑然としている」などマイナスイメージがある。

## ◇計画の全体構成（施策展開のイメージ）と将来像



■計画期間  
長期的に目指す将来像を見据え、  
2020(平成 32)年までの 10 年間

### 施策推進に当たっての視点

- ・ 環境と成長の両立に向け、あらゆる分野への環境の視点の組み込み
- ・ 地域主権の確立・広域連携の推進

## 計画の効果的、効率的な推進

※「府民」とは大阪府に住む人だけでなく大阪府に関わる全ての人を指す。

## 分野ごとの長期的将来像 （概ね 2050 年頃）

低炭素・省エネルギー

建物の高断熱化や機器の省エネ・省CO<sub>2</sub>化が飛躍的に進み、再生可能エネルギーやCO<sub>2</sub>排出量の少ない自動車が多く普及しているなど、温室効果ガスの排出量が 1990 年度から 80%削減されている。

資源循環

資源の循環的な利用が自立的に進む社会が構築され、廃棄物の排出量が最小限に抑えられている。また、生じた廃棄物はほぼ全量が再生原料として使用され、製品として購入されることによって循環し、最終処分量も必要最小限となっている。

全てのいのちが共生

生物多様性への人々の理解が進み、生物多様性に配慮した行動によって、豊かな森林、農空間、里地・里山、河川、海等が維持されている。また、生息環境を回復するための取組みが各地で行われた結果、大阪は身近に生き物と触れ合える、水とみどり豊かな都市となっている。

健康で安心して暮らせる

環境保全目標を全て満足し、澄みわたる空、深呼吸したくなる大気となっている。人の健康が保全されるとともに豊かな生態系が育まれ、身近に人と水がふれあえ、生活に潤いをあたえる水環境となっている。環境リスクの高い化学物質の排出削減が進むとともに、リスク管理やリスクコミュニケーションが定着し、化学物質によるリスクが最小化されている。

魅力と活力ある快適な地域

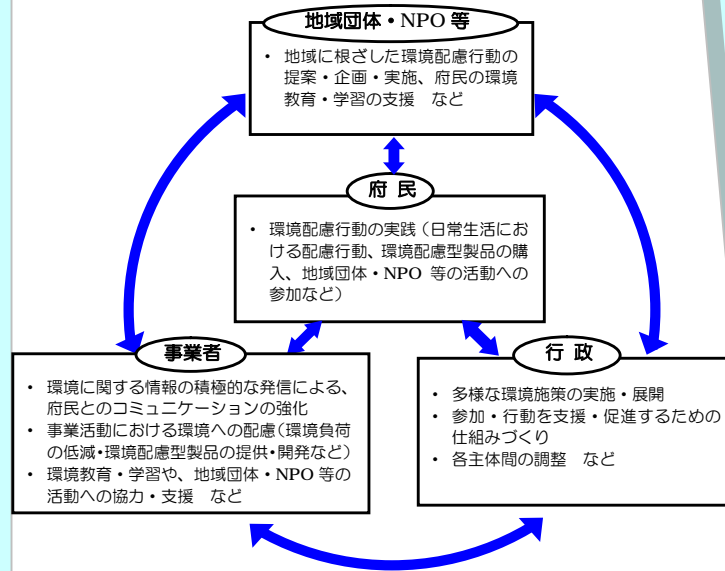
ヒートアイランド現象が緩和されるなど、快適な生活環境が確保された、みどりが多く、豊かな水辺や歴史・文化が活かされた、「暮らしやすい」「働きやすい」「訪れたい」都市となっている。

目指すべき将来像  
※府民がつくる暮らしやすい、環境・エネルギー先進都市

# ◇分野ごとの目標と施策の取組方針

## 府民の参加・行動

将来イメージ



- ・ 府民、地域団体・NPO、事業者、行政等の各主体が積極的に参加し、自ら行動する社会
- ・ 各主体が相互に連携して行動することにより、相乗的な効果が発揮されている社会

### 施策の方向

●あらゆる主体が日常的に環境配慮行動に取り組む社会の実現を目指し、環境問題への気付きの促進と環境配慮行動の拡大に向けた取組みを進める。

- 効果的な情報発信
- 環境教育・学習の推進
- 行動を支援する仕組みの充実

低炭素・省エネルギー

資源循環

全てのいのちが共生

健康で安心して暮らせる

魅力と活力ある快適な地域

2020年度目標（府民に分かりやすく、進捗状況が確認し易い）

### ■国の取組みと連動し、1990年度比で25%の温室効果ガス排出量を削減

- ・ 府域で保有される自動車のうちエコカーの割合を50%に増やす。
- ・ 府域の太陽光発電の導入によるCO<sub>2</sub>削減量を2009年度比で30倍以上に増やす。

### ■資源の循環をさらに促進

- ・ 一般廃棄物 リサイクル率を倍増させる。
- ・ 産業廃棄物 最終処分量をさらに削減する。
- リサイクル社会を実現するための府民行動を拡大
- ・ リサイクル製品を購入している府民の割合を倍増させる。
- ・ 資源物を分別している府民の割合を概ね100%にする。

### ■生物多様性の府民認知度を70%以上に ■生物多様性の損失を止める行動を拡大

- ・ 活動する府民を30%増加する。
- ・ 保安林、鳥獣保護区等の地域指定を新たに約2000ha拡大する。

### ■大気環境をさらに改善

- ・ 二酸化窒素の日平均値0.06ppm以下を確実に達成すると共に、0.04ppm以上の地域を改善する。
- ・ 微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)の環境保全目標を達成する。
- ・ 光化学オキシダント濃度0.12ppm(注意報発令レベル)未満を目指す。

### ■人と水がふれあえ、水道水源となりうる水質を目指し、水環境をさらに改善

- ・ BOD(生物化学的酸素要求量)3mg/L以下(環境保全目標のB類型)を満たす河川の割合を8割にする。

### ■多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。

- ・ 底層DO(溶存酸素量)5mg/L(湾奥部は3mg/L)以上を達成する。
- ・ 藻場を造成(藻場面積を400haを目指す)する。

### ■環境リスクの高い化学物質の排出量を2010年度より削減

### ●快適な生活環境が確保された「暮らしやすい」、「働きやすい」、「訪れたい」都市を目指す。

- みどり豊かな自然環境の保全・再生 みどりの風を感じるネットワークの形成 街の中に多様なみどりを創出 みどりの行動の促進
- ヒートアイランド現象の緩和
- 騒音・振動の防止
- 魅力ある景観の形成 歴史的・文化的環境の形成

### 施策の方向

#### ●あらゆる要素に「低炭素」の観点を組み入れて、低炭素化に向けた効果的な取組みを促進

- 産業・業務、住宅・建築物、運輸・交通の低炭素化
- 再生可能エネルギー等の普及
- 森林整備によるCO<sub>2</sub>吸収の促進

#### ●生産・流通、消費、再生・処理、最終処分各段階における資源の循環に向けた取組みを促進

- 再生原料・再生可能資源の利用促進
- 廃棄物排出量の削減
- リサイクル率の向上
- 最終処分量の削減
- 廃棄物の適正処理の徹底

#### ●生物多様性についての府民理解を促進し、生物の生息環境の保全と回復への行動を促進

- 生物多様性の重要性の理解促進
- 生物多様性に配慮した行動促進
- 府民と連携したモニタリング体制の構築
- 生物多様性保全に資する地域指定の拡大
- エコロジカルネットワークの構築推進

#### ●自動車排出ガス対策や工場等の固定発生源対策を推進

- 自動車から排出される窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)と粒子状物質(PM)の削減対策の推進
- 微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)の現状把握と対策の検討・実施
- 揮発性有機化合物(VOC)の排出削減
- 建築物の解体工事に伴うアスベストの飛散防止対策の徹底

#### ●流域の特性に応じた水質、水量、水生生物、水辺等を総合的に捉えて対策を推進

- 生活排水の100%適正処理を目指した生活排水処理対策の促進や総量規制等の工場・事業場排水対策の推進
- 健全な水循環の保全・再生
- 大阪湾の環境改善対策の推進

#### ●環境リスクの高い化学物質の排出削減や、予防的取組みの推進、様々な主体の環境リスクについての理解促進

- 環境リスクの高い化学物質の排出削減
- 化学物質に関するリスクコミュニケーションの推進
- 残留性有機汚染物質や汚染土壌等の適正管理・処理

## ◇施策推進に当たっての視点

- あらゆる分野への環境の視点の組み込み（都市構造、金融・産業など）
- 地域主権・広域連携の推進（広域連携・関西広域連合での取組み推進、市町村への権限移譲の推進など）

## ◇施策の効率的・効果的推進

- 複数年分の成果を評価するサイクルを追加
- 可能な限り得られた効果を数値化
- 評価資料の府民への公表及び意見募集

大阪府及び市町村の環境保全に係る取り組み状況

|      | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |   |                                   |                              |  |                              |                    |  |
|------|--------------------|----|---|-----------------------------------|------------------------------|--|------------------------------|--------------------|--|
|      |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標                                    | 電気使用量                             | 灯油使用量                        | ガス使用量  | ガソリン使用量                      | その他                |  |
| 大阪府  | 目標                 | 23 | -   | -                                 | -                            | -  | -                            | -                  |  |
|      | 実績                 | 21 | 対15年度比<br>7.2%削減                                | 631,311,252kWh                    | 667,738ℓ                     | 21,551,892m <sup>3</sup>                     | 6,398,715ℓ                   | -                  |  |
| 大阪市  | 目標                 | 23 | 基準年度(H19年度)以下に抑制                                | -                                 | -                            | -  | -                            | -                  |  |
|      | 実績                 | 21 | 対19年度実績比<br>7.7%減<br>(457,169,328MJ)            | 401,737,695MJ                     | -                            | 50,807,127MJ                                 | 4,556,581MJ                  | 重油<br>67,925MJ     |  |
| 堺市   | 目標                 | 22 | H16年度比<br>5%削減<br>(57,500 ton-CO <sub>2</sub> ) | -                                 | -                            | -  | -                            | -                  |  |
|      | 実績                 | 21 | 55,882 ton-CO <sub>2</sub>                      | 101,809,095 kWh                   | 43,399 ℓ                     | 9,909,049 m <sup>3</sup>                     | 542,278 ℓ                    | -                  |  |
| 岸和田市 | 目標                 | 21 | 対13年度比<br>6%削減<br>(17,578t-CO <sub>2</sub> )    | 対13年度比<br>6%削減<br>(30,570,293kwh) | 対13年度比<br>6%削減<br>(126,227ℓ) | 対13年度比<br>6%削減<br>(1,884,443m <sup>3</sup> ) | 対13年度比<br>6%削減<br>(118,435ℓ) | -                  |  |
|      | 実績                 | 21 | 16,411t-CO <sub>2</sub>                         | 31,756,446kwh                     | 132,718ℓ                     | 1,456,404m <sup>3</sup>                      | 112,289ℓ                     | -                  |  |
| 豊中市  | 目標                 | 22 | ・温室効果ガス排出量 対12年度比9%削減                           |                                   |                              |  |                              | 平成23年度以降については計画策定中 |  |
|      | 実績                 | 21 | ・対12年度比17.8%減(35,483t-CO <sub>2</sub> )         |                                   |                              |  |                              | -                  |  |

|                                     |   |                    | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況   | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考  |
|-------------------------------------|---|--------------------|--|---|---|
| コピー用紙使用量                            | 水道使用量   | 再資源化               |  |   |   |
| -                                   | -   | -                  | H21.3<br>ISO14001認証<br>返上  | 府庁エコアクションプラン(府<br>庁実行計画)H23年度中に策<br>定予定   | ・実績は大阪府庁エコアク<br>ションプラン-地球温暖化対<br>策大阪府庁実行計画-(平成<br>17年9月策定)の対象となる<br>事務事業による数値   |
| -                                   | 2,871,608m <sup>3</sup>                         | -                  | H21.4より独自<br>システムに移<br>行   |   |   |
| 基準年度(H19<br>年度)の4%削<br>減            | 基準年度(H19<br>年度)の4%削<br>減                        | 基準年度以上の<br>紙リサイクル率 | 【オフィス系庁舎】<br>H11.12~H21.12<br>本庁舎、区役所等<br>【環境局】<br>H13.3~H17.9<br>全ごみ焼却工場<br>【建設局】<br>H14.6~H17.6<br>全下水道事務所 | 大阪市環境基本計画<br>(H23.3策定)<br><br>エコオフィス21<br>(H9.5策定<br>H13.5改定<br>H18.5改定<br>H19.9改定<br>H21.11改定)   | ○ローカルアジェンダ21<br>「地球環境を守る身近な行動<br>指針」<br><br>* 目標・実績はエコオフィス<br>21によるもの(対象:全庁)<br>* 実績は事業所を除く<br><br>【庁内ごみの分別種類】<br>紙類(コピー用紙、ダンポー<br>ル、カラー用紙、新聞紙、封<br>筒類)・空き缶・空きびん・<br>ペットボトル |
| 対19年度実績<br>比<br>2.4%減<br>(14,043万枚) | 対19年度実績比<br>10.8%削減<br>(207,552m <sup>3</sup> ) | -                  | 【認証取得】<br>本庁舎 H14.2<br>5区役所 H16.2<br>美原区役所 H18.2<br><br>【認証解除】<br>全庁舎<br>H19.2.19解除                          | 第2次堺市環境基本計画<br>(H21.5策定)<br>堺市地域省エネルギービジョン<br>(H19.3改定)<br>堺市地球温暖化対策実行計画<br>-2期計画-(H20.3改訂)<br>堺市環境モデル都市行動計画<br>(H21.4策定)   | ●平成20年10月に堺市高石<br>市消防組合を本市消防局と<br>して合併したため、21年度実<br>績は消防局を含む。<br>【庁内ごみの分別種類】<br>焼却(一般ごみ・禁忌シュレッ<br>ダー・清掃工場直送)<br>リサイクル(新聞紙・雑誌書<br>籍・段ボール・その他紙類・<br>シュレッダー古紙)                 |
| -                                   | 対13年度比<br>6%削減<br>(747,468m <sup>3</sup> )      | -                  | 予定なし   | 岸和田市環境計画(H10.3策<br>定)H20.3改定<br>岸和田市地球温暖化対策率<br>先実行計画(H15.3策定)<br>H19.4改定   | 【庁内ごみの分別種類】<br>古新聞・雑誌・ダンボール・コ<br>ピー用紙等・プラスチック・カ<br>ン・ビン・ペットボトル  |
| 171.1 ton                           | 2,198,697 m <sup>3</sup>                        | -                  |  |   |   |
| -                                   | 対13年度比<br>6%削減<br>(747,468m <sup>3</sup> )      | -                  | H21.3に豊中市<br>伊丹市クリー<br>ンランドが<br>ISO14001を取<br>得  | 豊中市環境基本計画<br>(H11.3策定、H23.2第2次計<br>画策定)<br>豊中市地球温暖化対策<br>実行計画<br>(H13.10策定、H19.3第2次<br>計画策定、H23.3第3次計画<br>策定)<br>豊中市地球温暖化防止地域<br>計画(H19.11策定)<br>豊中市地域省エネルギ-<br>ビジョン(H16.2策定)<br>豊中市みどりの基本計画<br>(H11.5策定)<br>第2次一般廃棄物処理基本<br>計画(H16.3策定、H20.8改<br>定)<br>第2次豊中市ごみ減量計画<br>(H15.3策定、H20.3改定) | ○ローカルアジェンダ21<br>「豊中アジェンダ21-地球環<br>境を守る市民・事業者・行政<br>の行動計画」<br>(H11.3策定、H17.6改定)<br><br>【庁内ごみの分別種類】<br>ビン・カン・ペットボトル・可燃<br>ごみ・不燃ごみ・紙   |
| 19,072,102枚<br>(A4換算)               | 538,203m <sup>3</sup>                           | -                  |  |   |   |
| -                                   | -   | -                  | H21.3に豊中市<br>伊丹市クリー<br>ンランドが<br>ISO14001を取<br>得  | 豊中市環境基本計画<br>(H11.3策定、H23.2第2次計<br>画策定)<br>豊中市地球温暖化対策<br>実行計画<br>(H13.10策定、H19.3第2次<br>計画策定、H23.3第3次計画<br>策定)<br>豊中市地球温暖化防止地域<br>計画(H19.11策定)<br>豊中市地域省エネルギ-<br>ビジョン(H16.2策定)<br>豊中市みどりの基本計画<br>(H11.5策定)<br>第2次一般廃棄物処理基本<br>計画(H16.3策定、H20.8改<br>定)<br>第2次豊中市ごみ減量計画<br>(H15.3策定、H20.3改定) | ○ローカルアジェンダ21<br>「豊中アジェンダ21-地球環<br>境を守る市民・事業者・行政<br>の行動計画」<br>(H11.3策定、H17.6改定)<br><br>【庁内ごみの分別種類】<br>ビン・カン・ペットボトル・可燃<br>ごみ・不燃ごみ・紙   |
| 566.5t<br>-0.7%(前年度<br>比)           | 1,028,058m <sup>3</sup><br>-2.0%(前年度<br>比)      | -                  |  |   |   |



| 市町村名 | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |   |   |   |  |                           |  |
|------|--------------------|----|---|---|---|--|---------------------------|--|
|      |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標  | 電気使用量   | 灯油使用量                                       | ガス使用量  | ガソリン使用量                   | その他  |
| 池田市  | 目標                 | 23 | 対20年度比3%削減  | —   | —   | —  | —                         | —  |
|      | 実績                 | 21 | —   | 39,193,361kwh   | 113,364ℓ                                    | 1,289,176m <sup>3</sup><br>(CNG15,148m <sup>3</sup> 含) | 81,759ℓ                   | 軽油 75,834ℓ<br>A重油110,000ℓ<br>LPG 8,334m <sup>3</sup> |
| 吹田市  | 目標                 | 32 | 温室効果ガス排出量対17年度比25%削減                                | 63,520千kWh  | 105KL                                       | 2,919千m <sup>3</sup>                                   | 175KL                     | 軽油60KL<br>LPG7千m <sup>3</sup><br>A重油59KL             |
|      | 実績                 | 21 | 温室効果ガス排出量対17年度比5%削減                                 | 74,594千kWh  | 118KL                                       | 3,531千m <sup>3</sup>                                   | 204KL                     | 軽油72KL<br>LPG8千m <sup>3</sup><br>A重油54KL             |
| 泉大津市 | 目標                 | 25 | —   | 対19年度比5.5%削減<br>(10,100,000kwh)   | 対19年度比6.0%削減<br>(50,760ℓ)                   | 対19年度比3.0%削減<br>(870,000m <sup>3</sup> )               | 対19年度比9.3%削減<br>(32,400ℓ) | —  |
|      | 実績                 | 21 | —   | 対19年度比0.4%増加<br>(10,734,317kwh)   | 対19年度比21.3%削減<br>(42,500ℓ)                  | 対19年度比1.7%増加<br>(912,271m <sup>3</sup> )               | 対19年度比1.2%削減<br>(35,321ℓ) | —  |
| 高槻市  | 目標                 | 23 | 温室効果ガス排出量対21年度比で、毎年1%ずつ削減                           | ・施設のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量<br>対21年度比で毎年1%ずつ削減<br><br>・公用車のエネルギー使用に伴う温室効果ガス排出量<br>対21年度比で毎年1%ずつ削減 |   |  | —                         | —  |
|      | 実績                 | 21 | 温室効果ガス排出量対17年度比4.9%削減<br>(25,767t-CO <sub>2</sub> ) | 対17年度比0.4%削減<br>(15,753t-CO <sub>2</sub> )  | 対17年度比11.3%削減<br>(10,004t-CO <sub>2</sub> ) |  | —                         | —  |
| 貝塚市  | 目標                 | 25 | 対21年度比4%削減(7,784,591kg-co <sub>2</sub> )            | 対21年度比4%削減(16,143,129kwh)   | 対21年度比4%削減(73,083ℓ)                         | 対21年度比4%削減(都市ガス642,535m <sup>3</sup> ・LPG14,290kg)     | 対21年度比4%削減(61,751ℓ)       | 対21年度比4%削減(軽油49,190ℓ・A重油104,160ℓ)                    |
|      | 実績                 | 21 | 8,108,949kg-co <sub>2</sub>                         | 16,815,759kwh   | 76,128ℓ                                     | 都市ガス(669,307m <sup>3</sup> )・LPG(14,885kg)             | 64,324ℓ                   | 軽油(51,240ℓ)・A重油(108,500ℓ)                            |

|                                |  |                                  | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況  | 環境管理に関する<br>計画等  | 備<br>考  |
|--------------------------------|--|----------------------------------|---|--|---|
| コピー用紙使用量                       | 水道使用量  | 再資源化                             |   |  |   |
| —                              | —  | —                                | —   | 池田市新環境基本計画<br>(H23.3策定)<br>池田市地域省エネルギービ<br>ジョン(H14.3策定)<br>池田市地域新エネルギービ<br>ジョン(H20.2策定)<br>池田市一般廃棄物処理基本<br>計画(H22.3策定)<br>第2次池田市地球温暖化防<br>止実行計画(H21.4策定)   | ○ローカルアジェンダ'21<br>「池田市環境基本計画」<br><br>【庁内ごみの分別種類】<br>可燃ごみ、不燃ごみ、紙、ビ<br>ン・カン、ペットボトル   |
| 21,068,033枚<br>(A4換算)          | 367,749m <sup>3</sup>                        | —                                | 取得済<br>*本庁舎及び<br>出張所<br>(H16.7)<br>更新サイト拡<br>大<br>認証解除<br>本庁舎及び3<br>出張所<br>H22.6.30 | ・吹田市環境基本計画<br>(H10.8策定)<br>・吹田市第2次環境基本計<br>画(H21.3策定)<br>・吹田市役所エコオフィスプ<br>ラン(改定版)策定(H16.4策<br>定)<br>・吹田市役所エコオフィスプ<br>ラン(第3版)策定(H19.4策<br>定)<br>・吹田市役所エコオフィスプ<br>ラン(第4版)策定(H22.4策<br>定)<br>・吹田市役所エコオフィスプ<br>ラン(第5版)策定(H23.4策<br>定)<br>・吹田市地域新エネルギー・<br>省エネルギービジョン(H22.2<br>策定)<br>・吹田市地球温暖化対策新<br>実行計画(H23.3策定) | ・左記の実績及び目標値は<br>大阪府条例及び吹田市役所<br>エコオフィスプラン第5版に基<br>づく数値(府外施設含む)<br>・ローカルアジェンダ'21<br>(H17.3策定)<br>・【庁内のごみの分別種類】<br>ビン・缶・ペットボトル・紙<br>ごみ・その他  |
| 29,142千枚                       | 1,429千m <sup>3</sup>                         | —                                |   |  |   |
| 33,158千枚                       | 1,622千m <sup>3</sup>                         | —                                |   |  |   |
| 対19年度比<br>2%削減<br>(4,730,000枚) | 19年度の水準を<br>維持<br>(217,000m <sup>3</sup> )   | —                                | 予定なし  | 泉大津市環境基本計画<br>(H14.3策定)<br>地球温暖化対策の推進に<br>関する泉大津市実行計画<br>[第3期](H21.3策定)  | 【庁内ごみの分別種類】<br>一般ごみ・空き缶・空きビン・<br>乾電池・古新聞・古雑誌・ダ<br>ンボール  |
| 対19年度比<br>6%増加<br>(5,111,250枚) | 対19年度比<br>0.1%削減<br>(216,841m <sup>3</sup> ) | —                                |   |  |   |
| 単年度目標なし<br>(※備考欄参照)            | 21年度実績以下                                     | 焼却ごみ量<br>対21年度比で<br>毎年1%ずつ削<br>減 | 取得済<br>*本庁舎<br>(H14.3)<br>H23.3認証更<br>新   | ・高槻市環境基本計画<br>(H14.3策定 H19.10改定)<br>・たかつきエコオフィスプラン<br>(H23.3策定)<br>・たかつき地球温暖化対策ア<br>クションプラン<br>(H23.3策定)   | ○ローカルアジェンダ'21策定<br>(H16.3、最新版H22.7)<br>名称:「たかつきローカルアジェンダ'21」<br>○コピー用紙使用量について<br>・更紙を含め「紙購入量」として把握<br>・目標:【市長部局等】平成27年度ま<br>でに紙購入量平成21年度比3%削減<br>【学校園】平成21年度実績以下<br>○庁内ごみの分別種類<br>・可燃ごみー大型、その他<br>・不燃ごみーガラス、コップ、その他<br>・リサイクルごみー古紙類、カン、ビ<br>ン |
| 対17年度比<br>5.8%増加<br>(70,368千枚) | 対17年度比<br>13.6%削減<br>(638千m <sup>3</sup> )   | 対17年度比<br>2.4%削減<br>(1,365t)     |   |  |   |
| —                              | —  | —                                | 予定なし  | 貝塚市地球温暖化対策実行計<br>画(H19.2策定)<br>第2期貝塚市地球温暖化対策<br>実行計画(H22.11策定)<br>貝塚市地域省エネルギービジ<br>ョン 初期ビジョン(H20.2策定)<br>重点ビジョン(H21.2策定)   | 【庁内ごみの分別種類】<br>一般ゴミ、カン、ビン、ペッ<br>トボトル、プラスチック類、乾<br>電池、古新聞、ダンボール  |
| —                              | —  | —                                |   |  |   |

| 市町村名 | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |   |   |  |  |  |   |
|------|--------------------|----|---|---|--|--|--|---|
|      |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標  | 電気使用量   | 灯油使用量  | ガス使用量  | ガソリン使用量                                      | その他   |
| 守口市  | 目標                 | 22 | 対11年度比<br>10.5%削減(目標年度22年度)   | 対12年度比5%<br>削減  | 燃料使用量として、対12年度比5%削減                          |  |  |   |
|      | 実績                 | 21 | 対11年度比<br>38.9%削減<br>(22,846tCO <sub>2</sub> )                                      | 対12年度比<br>18.5%削減<br>(27,239,143kwh)  | 対12年度比<br>69.1%削減<br>(58.4kl)                | 都市ガス<br>対12年度比<br>32.2%削減<br>(521,635m <sup>3</sup> )<br>LPG同49.5%削減<br>(33,752kg) | 対12年度比<br>37.9%削減<br>(41.3kl)                | 軽油:<br>対12年度比37.1%<br>削減(55.6kl)<br>重油:<br>同96.7%削減(32.9kl) |
| 枚方市  | 目標                 | 23 | 対17年度比<br>13.1%削減<br>(23,836t<br>⇒<br>20,713t)                                      | 対17年度比<br>11.7%削減<br>(13,537,726kwh<br>⇒<br>11,953,812kwh)  | 対17年度比<br>49.5%削減<br>(461,551l⇒<br>233,083l) | 対17年度比<br>10.7%<br>削減<br>(1,242,281m <sup>3</sup> ⇒<br>1,109,357m <sup>3</sup> )   | 対17年度比<br>14.5%削減<br>(150,462l⇒<br>128,645l) | 軽油対17年度比<br>1.5%以内の増加<br>にとどめる<br>(246,704l⇒<br>250,405l)   |
|      | 実績                 | 21 | 対17年度比<br>12.1%削減<br>(23,836t<br>⇒<br>20,952t)                                      | 対17年度比<br>4.0%削減<br>(13,057,022kwh)   | 対17年度比<br>19.7%削減<br>(370,776l)              | 対17年度比<br>15.7%削減<br>(1,045,144m <sup>3</sup> )                                    | 対17年度比<br>12.3%削減<br>(131,907l)              | 軽油対17年度比<br>3.0%増加<br>(254,081l)                            |
| 茨木市  | 目標                 | 24 | 対19年度比<br>10%削減<br>(75,319t)(目標<br>値)   | エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油)<br>CO <sub>2</sub> 換算で対19年度比6%削減<br>(16,644t-CO <sub>2</sub> )(目標値) |  |  |  |   |
|      | 実績                 | 21 | 対19年度比<br>11.0%削減<br>(74,524t)  | エネルギー削減目標(電気・ガス・ガソリン・軽油・灯油・A重油)<br>対19年度比1.0%増加<br>(17,880t-CO <sub>2</sub> )                       |  |  |  |   |
| 八尾市  | 目標                 | 22 | —   | 前年度比<br>1%削減  | —  | —  | 前年度比<br>1%削減                                 | —   |
|      | 実績                 | 21 | —   | 前年度比<br>2%増加<br>(243,957kwh増)   | —  | —  | 前年度比<br>4%削減<br>(1,672l減)                    | —   |
| 泉佐野市 | 目標                 | 23 | 平成20年度を基準<br>年とし、CO <sub>2</sub> の排<br>出を年1%の削減<br>目標                               | 削減に努める。   | 削減に努める。                                      | 削減に努める。  | 削減に努める。                                      | —   |
|      | 実績                 | 21 | 大阪府温暖化の<br>防止等に関する条<br>例の届出では、平<br>成20年度の排出<br>量に比べ、2.76%の<br>CO <sub>2</sub> を排出削減 | 19,935千kwh  | 152kl  | (都市ガス)<br>615千m <sup>3</sup><br>(LPガス)<br>15t                                      | 97kl   | —   |
| 富田林市 | 目標                 | 22 | 対16年度比 0.1%削減(9,261,483kg-CO <sub>2</sub> )<br>平成23年度に「富田林市地球温暖化対策実行計画(第3次)」策定予定    |   |  |  |  |   |
|      | 実績                 | 21 | 9,111,794kg-CO <sub>2</sub>   | 6,107,333kg-CO <sub>2</sub>   | 375,979kg-CO <sub>2</sub>                    | 1,821,558kg-CO <sub>2</sub>  | 14,307kg-CO <sub>2</sub>                     | 792,617kg-CO <sub>2</sub>                                   |

|  |  |  | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況   | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考  |
|--|--|--|--|---|---|
| コピー用紙使用量   | 水道使用量  | 再資源化   |  |   |   |
| —  | 対12年度比5%<br>削減                               | —  | 予定なし   | 守口市<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H14.6策定、H14～H22年<br>度)   | 【庁内ごみの分別種類】<br>一般ゴミ・廃プラスチック類・<br>新聞紙・古紙類・ビン・カン・<br>ペットボトル、紙コップ類   |
| —  | 対12年度比<br>38.4%削減<br>(345,958㎡)              | 古紙類のリサイ<br>クルの徹底   |  |   |   |
| 対21年度比<br>1.0%削減<br>(A4換算<br>2,826万枚⇒<br>2,797万枚)                        | 対17年度比<br>14.0%削減<br>(398,660㎡⇒<br>342,848㎡) | 本庁・分館の可燃<br>ゴミ排出量を対17<br>年度比22.0%削減<br>(27.5t⇒<br>21.5t) | 取得済<br>(H13.10)<br>現在、市立幼<br>稚園、市立小<br>中学校、市民<br>病院の医療<br>部門を除く全<br>組織において<br>認証取得 | 枚方市環境基本計画(H13.2策<br>定)<br>第2次枚方市環境基本計画<br>(H23.3策定)<br>枚方市役所CO <sub>2</sub> 削減プラン<br>～枚方市役所地球温暖化対策<br>実行計画～(H19.6策定)<br>(旧 枚方市役所<br>地球温暖化防止実行計画<br>(H14.3策定)が平成18年度に計<br>画期間満了) | 【庁内ごみの分別種類】<br>一般ゴミ・古紙類・ビン・カン<br>・ペットボトルなど廃プラス<br>チック類  |
| 対18年度比<br>3.2%削減<br>(28,256,288枚)  | 対17年度比<br>8.3%削減<br>(365,417㎡)               | 対17年度比<br>20.5%削減<br>(21.87t)                            | 平成22年10<br>月12日認証<br>登録更新<br>(本庁舎(本<br>館・南館))                                      | 茨木市環境基本計画<br>(H16.3策定)<br>エコオフィスプラン<br>いばらき<br>(H12.3策定)<br>(H21.3改正)   | 【庁内ごみの分別種類】<br>新聞紙・その他の紙類・空き<br>缶・空きビン・ペットボトル・普<br>通ごみ  |
| 対19年度比<br>7%削減(印刷用<br>紙、業者発注分<br>含む)<br>(77,233,808枚)<br>(目標値)<br>* A4換算 | 対19年度比<br>8%削減<br>(644,405㎡)(目<br>標値)        | 普通ごみ排出量<br>H19年度比<br>9%削減<br>(515.8t)(目標<br>値)           |  |   |   |
| 対19年度比<br>5.0%増加<br>(87,202,288枚)<br>* A4換算                              | 対19年度比<br>12.1%削減<br>(615,579㎡)              | 対19年度比<br>13.3%削減<br>(491.2t)                            | KES認証更<br>新(平成23<br>年3月1日<br>付、本庁舎及<br>び清掃庁舎)                                      | 環境マネジメントシステムに<br>よる環境改善計画<br>大阪府温暖化の防止等に関<br>する条例に基づく削減計画<br>八尾市地球温暖化対策実行<br>計画(事務事業編)H23.3策<br>定予定   | ※庁内ごみの分別種類<br>可燃ごみ、資源ごみ、複雑ご<br>み、埋立ごみ、新聞、雑誌、<br>ダンボール、その他紙類<br>※KES認証取得範囲(本庁<br>舎及び清掃庁舎)だけでなく、<br>全庁的に環境マネジメント<br>システムを用いて環境改善<br>活動を行っている。 |
| —<br>(平成21年度より<br>実績値のみ把握<br>するよう変更)                                     | —  | 可燃ごみ排出量<br>前年度比<br>1%削減                                  |  |   |   |
| 前年度比<br>1%削減<br>(71,407枚減)   | —  | 可燃ごみ排出量<br>前年度比<br>4%削減<br>(4.2t減)                       | 予定なし   | 泉佐野市地球温暖化対策実<br>行計画(平成20年3月策定)  | 庁内ゴミの分別・可燃ゴミ<br>・カン・ビン、ペットボトル・<br>紙類  |
| —  | —  | —  |  |   |   |
| —  | —  | —  | 平成22年3<br>月31日付<br>エコアクシ<br>ョン21認証・<br>登録取得(本<br>庁舎・別館)                            | 富田林市地球温暖化対策実<br>行計画(第2次)(H18.3策定)<br>富田林市地球温暖化対策実<br>行計画(第3次)(平成23年<br>度策定予定)   | *目標・実績は富田林市地<br>球温暖化対策実行計画(第2<br>次)より<br>【庁内ごみの分別種類】<br>もえるごみ、粗大ごみ、資源<br>カン・ビン、資源ペットボトル、<br>資源古紙古布、資源プラス<br>チック製容器                          |
| —  | —  | —  |  |   |   |

| 市町村名  | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |  |   |   |  |   |  |
|-------|--------------------|----|--|---|---|--|---|--|
|       |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標   | 電気使用量   | 灯油使用量   | ガス使用量  | ガソリン使用量                                   | その他  |
| 寝屋川市  | 目標                 | 26 | —  | 対21年度比<br>5%削減<br>(施設稼働除く)<br>(13,164,617kwh)   | 燃料の使用量(自動車含む)を<br>概ね対21年度比5%削減<br>(都市ガス:815,599㎡)<br>(LPG:15,435kg) |  |   | 廃プラスチックの<br>焼却量を、対21<br>年度比12%削減<br>(3,832t) |
|       | 実績                 | 21 | —  | 13,857,492kwh                                   | 256,216ℓ  | 都市ガス:<br>858,525㎡<br>LPG:16,247kg            | 71,780ℓ                                   | 4,354t                                       |
| 河内長野市 | 目標                 | 25 | 平成17年度を基<br>準として平成25<br>年度までに37<br>パーセント以上<br>削減<br>(ただし、森林吸<br>収量含む。) | 削減に努める。   | 削減に努める。   | 削減に努める。                                      | 削減に努める。                                   | —  |
|       | 実績                 | 21 | —  | 20,295,641kwh                                   | 281,293ℓ  | LPG:30,452.9kg<br>都市ガス:<br>359,209㎡          | 72,876.3ℓ                                 | —  |
| 松原市   | 目標                 | 18 | —  | 対10年度比<br>概ね5%削減<br>実績 13.1%削減<br>14,064,167kwh | 対10年度比<br>概ね10%削減<br>実績 23.4%削減<br>10,495ℓ                          | 対10年度比<br>概ね10%削減<br>実績 4.9%増加<br>1,032,104㎡ | 対10年度比<br>概ね10%削減<br>実績 4.4%削減<br>49,053ℓ | —  |
|       | 実績                 | 21 | —  | 11,020,215kwh                                   | 9,693ℓ  | 692,716㎡                                     | 49,748ℓ                                   | —  |
| 大東市   | 目標                 | 24 | —  | 対17年度比<br>6%削減<br>(13,248,273.3kwh)             | 対17年度比<br>6%削減<br>(3,169.6ℓ)  | 対17年度比<br>6%削減<br>(511,946㎡)                 | 対17年度比<br>6%削減<br>(54,662.3ℓ)             | —  |
|       | 実績                 | 21 | —  | 対17年度比<br>2.17%削減<br>(13,788,652.0kwh)          | 対17年度比<br>45.49%削減<br>(1,838.0ℓ)                                    | 対17年度比<br>6.18%削減<br>(510,950.5㎡)            | 対17年度比<br>2.38%削減<br>(56,767.3ℓ)          | —  |
| 和泉市   | 目標                 | 23 | —  | 本庁舎:前年比<br>10%削減<br>上下水道部庁<br>舎:前年比5%削<br>減     | —   | 18年度数値維持<br>(114,035㎡)                       | 対11年度比<br>37%削減<br>(50,091ℓ)              | —  |
|       | 実績                 | 21 | —  | 対11年度比<br>3.30%増加<br>(1,426,430kwh)             | —   | 対13年度比<br>1.7%増加<br>(104,218㎡)               | 対11年度比<br>35.7%削減<br>(51,160ℓ)            | —  |
| 箕面市   | 目標                 | 22 | —  | 対11年度比<br>15%削減<br>(24,365,000kwh)              | —   | 対11年度比<br>10%削減<br>(1,384,791㎡)              | 対11年度比<br>10%削減<br>(76,557ℓ)              | —  |
|       | 実績                 | 21 | —  | 対11年度比<br>0.8%削減<br>(28,430,884kwh)             | —   | 対11年度比<br>2.0%削減<br>(1,507,566㎡)             | 対11年度比<br>11.3%削減<br>(75,421ℓ)            | —  |

|  |   |   | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況 | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考   |
|--|---|---|------------------------|---|--|
| コピー用紙使用量                                       | 水道使用量                                       | 再資源化  |                        |   |  |
| 対21年度比<br>2%削減<br>(85,427,085枚)                | 節水に心がける<br>(数値目標なし)                         | 事務用品等の再<br>生品購入推進                             | 市役所本庁舎<br>H21年度に<br>廃止 | 寝屋川市環境基本計画<br>(H14.2策定)<br>寝屋川市役所<br>温暖化対策実行計画<br>(H13.2策定)<br>第二期寝屋川市役所温暖化<br>対策実行計画(H17.4策定)<br>寝屋川市グリーン調達方針<br>(H22.4改定)<br>寝屋川市環境基本計画<br>(H23.3改訂)<br>第三期寝屋川市役所温暖化<br>対策実行計画(H22.4策定) |  |
| 87,170,495枚                                    | —   | —   |                        |   |  |
| 削減に努める   | 削減に努める                                      | —   | 予定なし                   | 河内長野市環境基本計画<br>(H13.3策定,H23.3改訂予定)<br>河内長野市環境率先行動実<br>行計画<br>(H13.10策定,H21.12改訂)<br>*温暖化防止実行計画を含<br>む   | 【庁内ごみの分別種類】<br>古新聞・雑誌・ダンボール・コ<br>ピー用紙・カン・ビン・ペットボ<br>トル・一般ごみ ペットボトル<br>のキャップ  |
| —  | —   | —   |                        |   |  |
| 対10年度比<br>概ね10%削減<br>実績 17.0%増加<br>29,961,112枚 | 対10年度比<br>概ね10%削減<br>実績 27.4%削減<br>351,230㎡ | 対10年度比<br>概ね10%をリサ<br>イクル 実績<br>50.2%減少 53.2t | 予定なし                   | 地球温暖化対策の推進<br>に関する松原市実行計画<br>(H14.4策定)  | 【庁内ごみの分別種類】<br>用紙類   |
| 28,045,104枚<br>※A4換算                           | 273,741㎡                                    | 47.2t   |                        |   |  |
| 対17年度比<br>6%削減<br>(7,648,695.4枚)               | 対17年度比<br>6%削減<br>(313,051㎡)                | —   | 検討中                    | 大東市環境基本計画<br>(H18.7策定)<br>大東市地球温暖化対策<br>実行計画(H14.1策定)<br>第2期大東市地球温暖化対<br>策実行計画(H19.3策定)   | 【庁内ごみの分別種類】<br>古紙(4種類)、カン・ビン、<br>ペットボトル、紙パック   |
| 対17年度比<br>48.4%増加<br>(12,078,500枚)             | 対17年度比<br>8.61%削減<br>(304,355㎡)             | —   |                        |   |  |
| 対11年度比<br>52%削減<br>(3,532,200枚)<br>* A4換算      | 対11年度比<br>8%削減<br>(12,131㎡)                 | —   | 本庁舎<br>(H13.11)        | 和泉市環境基本計画<br>(H23.3策定)  | * 本庁舎数値<br><br>【庁内ごみの分別種類】<br>ダンボール・新聞紙・一般紙・<br>雑誌類・ペットボトル・カン・ビ<br>ン・乾電池   |
| 対11年度比<br>51.3%削減<br>(3,584,643枚)<br>* A4換算    | 対11年度比<br>8.8%削減<br>(12,023㎡)               | —   |                        |   |  |
| 対11年度比<br>5%削減<br>(24,869,971枚)                | 対11年度比<br>5%削減<br>(468,890㎡)                | —   | 予定なし                   | 箕面市<br>地球環境保全行動計画<br>(H12.3策定)<br><br>箕面市<br>快適環境づくり計画(ステッ<br>プ2)<br>(H13.3策定)  | ○ローカルアジェンダ21<br>「箕面市地球環境保全行動計画」<br>(H12.3策定)<br>○庁内ごみの分別種類<br>燃えるごみ、燃えないごみ、缶、ビ<br>ン、ペットボトル、紙類(再生紙等)<br>○箕面市快適環境づくり計画(H6.3<br>策定) |
| 対11年度比<br>19.3%増加<br>(31,229,044枚)             | 対11年度比<br>20.4%削減<br>(393,025㎡)             | —   |                        |   |  |

| 市町村名 | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |                                      |                                     |                                |   |  |  |
|------|--------------------|----|--------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|---|--|--|
|      |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標                         | 電気使用量                               | 灯油使用量                          | ガス使用量   | ガソリン使用量  | その他  |
| 柏原市  | 目標                 | 23 | 対12年度比<br>5%削減<br>(6,657t-CO2)       | 対12年度比<br>5%削減<br>(14,393,185kw)    | 対12年度<br>(32,210L)<br>10%削減    | 対12年度<br>10%削減<br>都市ガス<br>(560,588m3)<br>プロパン<br>(22,434kg)           | —  | 自動車燃料の総<br>使用量<br>対12年度比<br>5%削減<br>ガソリン<br>(38,913L)<br>軽油<br>(10,487L)<br>重油<br>(4,340L)   |
|      | 実績                 | 21 | 対12年度比<br>16.9%増<br>(7,777t-CO2)     | 対12年度比<br>11.7%増<br>(16,084,005kw)  | 対12年度比<br>14.5%増加<br>(36,884L) | 対12年度比<br>都市ガス<br>6.5%増<br>(596,986m3)<br>プロパン<br>7.5%増<br>(24,113kg) | —  | 対12年度比<br>ガソリン<br>10.2%増<br>(42,896L)<br>軽油<br>281%増<br>(39,992L)<br>重油<br>5.5%増<br>(4,100L) |
| 羽曳野市 | 目標                 | 22 | 対13年度比<br>11%削減<br>(8,118,629kg-Co2) | 対13年度比<br>11%削減<br>(15,505,036kwh)  | 対13年度比<br>11%削減<br>(84,562ℓ)   | 対13年度比<br>11%削減<br>(854,020m <sup>3</sup> )                           | 対13年度比<br>11%削減<br>(68,643ℓ)                         | —  |
|      | 実績                 | 21 | 8,288,466kg-<br>Co2(9.1%減)           | 16,441,229kwh<br>(5.7%減)            | 81,876ℓ<br>(13.9%減)            | 816,802m <sup>3</sup><br>(14.9%減)                                     | 58,690ℓ<br>(24.0%減)                                  | —  |
| 門真市  | 目標                 | 23 | 25,760t-co2                          | 対17年度比<br>5%削減<br>(20,970千kwh)      | 対17年度比<br>5%削減<br>(48,500ℓ)    | 対17年度比<br>5%削減<br>(868,300m <sup>3</sup> )                            | 対17年度比<br>5%削減<br>(31,730ℓ)                          | * 軽油<br>対17年度比5%<br>削減(64,500ℓ)  |
|      | 実績                 | 21 | 23,700t-co2                          | 23,362千kwh                          | 33,000ℓ                        | 740,000m <sup>3</sup>   | 28,000ℓ  | 20,000ℓ  |
| 摂津市  | 目標                 | 22 | 対17年度比<br>5%削減<br>1,120t-CO2         | 対17年度比概ね<br>5%削減<br>20,166,506 kwh  | 対17年度比概ね<br>5%削減<br>199,875ℓ   | 対17年度比概ね<br>5%削減<br>333,692 m <sup>3</sup>                            | 対17年度比概ね<br>5%削減 70,341ℓ                             | -  |
|      | 実績                 | 21 | 5.5%削減<br>1224t-CO2                  | 21,053,692 kwh<br>0.8%減             | 152,045ℓ<br>27.7%減             | 339,210 m <sup>3</sup><br>3.4%減                                       | 87,024ℓ<br>17.5%増                                    | -  |
| 高石市  | 目標                 | 17 | 3,391トン/CO2                          | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(5,965,384.4kwh) | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(22,536.4ℓ) | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(469,691.7m <sup>3</sup> )                         | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(22,536.6ℓ)                       | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(軽油:3,775.7ℓ)<br>(A重油:4,770.9ℓ)   |
|      | 実績                 | 21 | 3,233トン/CO2                          | 5,898,682.0kwh                      | 6,471.3ℓ                       | 417,525.0m <sup>3</sup>   | 22,904.0ℓ  | 軽油:6,166.4ℓ<br>A重油:15,847.0ℓ   |
| 藤井寺市 | 目標                 | 22 | 対10年度比<br>5%削減<br>(5,175t-CO2)       | 対10年度比<br>5%削減<br>(9,894,083wh)     | 極力削減                           | 対10年度比<br>5%削減<br>(399,608m <sup>3</sup> )                            | 公用車使用量対<br>10年度比10%削<br>減(31,003ℓ)<br>その他使用量<br>極力削減 | 軽油: 公用車使<br>用量対10年度比<br>10%削減(79,130<br>ℓ)その他使用量<br>極力削減<br>A重油: 対10年度<br>比4%削減<br>(20,438ℓ) |
|      | 実績                 | 20 | 4,895t/CO2                           | 10,279,754kwh                       | 27,328ℓ                        | 315,197m <sup>3</sup>   | 21,843ℓ  | 軽油:39,453ℓ<br>A重油:10,576ℓ  |

|                                  |   |      | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況                                       | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考  |
|----------------------------------|---|------|--|---|---|
| コピー用紙使用量                         | 水道使用量   | 再資源化 |  |   |   |
| 対12年度比<br>5%削減<br>※A4換算枚数        | 対12年度比<br>(250,569m <sup>3</sup> )<br>5%削減    | —    | 自己宣言<br>(H22.3.25)   | 柏原市<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H14.3策定)   | ※目標を市の全ての事務事<br>業活動での削減を取り組む<br>(当初は新規施設は除いて<br>いた)<br>※ISO14001自己宣言による<br>運用 |
| -                                | 対12年度比<br>17.9%削減<br>(205,764m <sup>3</sup> ) | -    |  |   |   |
| —                                | —   | —    | 予定なし   | 羽曳野市地球温暖化対策<br>推進実行計画<br>(H15.3策定)                                      |   |
| —                                | —   | —    |  |   |   |
| —                                | —   | —    | 検討中  | 第二期門真市エコオフィス計画<br>(H19.4策定)<br>※期間は平成19年度～平成23<br>年度までの5年間              | 【庁内ごみの分別種類】<br>普通ごみ、プラスチック製容器<br>包装、びん・缶類、自転車類、小<br>型・ガラス類、ペットボトル、古<br>紙・古布   |
| -                                | —   | —    |  |   |   |
| -                                | 対17年度比概ね<br>5%削減<br>234,575 m <sup>3</sup>    | -    | 環境センター<br>に於いて環<br>境エコアクション<br>21(EA21)を<br>平成21年3月<br>末認証取得 | ・摂津エコオフィス推進プログラム<br>Ⅱ (H.18.11策定)<br>・摂津市地球温暖化防止地域<br>計画<br>(H23年中策定予定) | ※対象:全庁舎(外部職場を含<br>む)電気、ガス、水道等の使用量<br>【庁内ごみの分別】<br>OA用紙、新聞、雑誌、缶、び<br>ん、ペットボトル  |
| -                                | 239,755 m <sup>3</sup><br>3.9%減               | -    |  |   |   |
| 対11年度<br>概ね5%削減<br>(10,264,180枚) | 対11年度<br>概ね5%削減<br>(190,550.0m <sup>3</sup> ) | -    |  | 高石市<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H13. 11策定)                                       | 【庁内ごみの分別種類】<br>紙類(コピー用紙、ダンポー<br>ル、新聞紙、本、雑誌)・空き<br>缶・空きびん・ペットボトル・白<br>色トレー     |
| 5,797,825枚                       | 147,455 m <sup>3</sup>                        | -    |  |   |   |
| 対10年度比<br>5%削減<br>(19,510,557枚)  | 対10年度比<br>5%削減<br>(223,446 m <sup>3</sup> )   | —    | 予定なし   | 藤井寺市<br>地球温暖化対策推進実行計<br>画<br>(H13.3策定)                                  | 【庁内ごみの分別種類】<br>普通ゴミ、粗大ゴミ、カン、ビ<br>ン、ペットボトル、紙、新聞、<br>ダンボール、乾電池                  |
| 7,568,145枚                       | 168,411 m <sup>3</sup>                        | —    |  |   |   |



| 市町村名  | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |  |                                      |                                |   |                                |  |
|-------|--------------------|----|--|--------------------------------------|--------------------------------|---|--------------------------------|--|
|       |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標   | 電気使用量                                | 灯油使用量                          | ガス使用量   | ガソリン使用量                        | その他  |
| 東大阪市  | 目標                 | 23 | —  | 対17年度比<br>-6%<br>(50,450,295kwh)     | 対17年度比<br>-6%<br>(305,149ℓ)    | 対17年度比<br>-6%<br>(都市ガス:<br>4,542,913m <sup>3</sup> )<br>(LPG: 5,950kg)            | 対17年度比<br>-6%<br>(260,228ℓ)    | 対17年度比<br>-6%<br>(軽油: 236,262ℓ)<br>(A重油: 16,800ℓ)                    |
|       | 実績                 | 21 | —  | 対17年度比<br>-1.0%<br>(49,948,182kwh)   | 対17年度比<br>+1.1%<br>(308,537ℓ)  | 対17年度比<br>都市ガス: -19.4%<br>(3,663,772m <sup>3</sup> )<br>LPG: -22.4%<br>(4,617kg)  | 対17年度比<br>-13.4%<br>(225,264ℓ) | 対17年度比<br>軽油: +11.2%<br>(262,724ℓ)<br>A重油: +25.3%<br>(21,054ℓ)       |
| 泉南市   | 目標                 | 23 | 対前年比-6%  | 9124674kwh                           | 182404ℓ                        | 126561m <sup>3</sup>  |                                |  |
|       | 実績                 | 21 | -6%  | 9707100kwh                           | 194047ℓ                        | 134640m <sup>3</sup>  |                                |  |
| 四條畷市  | 目標                 | 22 | 対16年度比温室効果ガス排出量<br>5%削減<br>(3,667t-CO <sub>2</sub> )     | 対16年度比概ね<br>5%削減<br>(7,908,890Kwh)   | 対16年度比概ね<br>5%削減<br>(990ℓ)     | 対16年度比概ね<br>5%削減<br>都市ガス: 237,808m <sup>3</sup><br>LPガス: 14,082kg                 | 対16年度比概ね<br>7%削減<br>(33,924ℓ)  | 軽油使用量対16<br>年度比概ね7%削減<br>(10,857ℓ)                                   |
|       | 実績                 | 22 | 3,697t-CO <sub>2</sub><br>4.2%減                          | 8,093,824Kwh<br>2.8%減                | 617ℓ<br>40.8%減                 | 都市ガス: 216,530m <sup>3</sup><br>13.5%減<br>LPガス: 11,846kg<br>20.1%減                 | 28,276ℓ<br>22.5%減              | 15,701ℓ<br>34.5%増  |
| 交野市   | 目標                 | 22 | 対16年度比<br>温室効果ガス<br>排出量6%削減                              | 対16年度比<br>6%削減                       | 対16年度比<br>6%削減                 | 対16年度比<br>6%削減  | 対16年度比<br>6%削減                 | 対16年度比<br>軽油<br>6%削減   |
|       | 実績                 | 21 | 対16年度比<br>20.6%削減<br>(6,029,316kg-CO <sub>2</sub> )      | 対16年度比<br>12.5%削減<br>(1,4659,860kwh) | 対16年度比<br>6.4%削減<br>(184,689ℓ) | 対16年度比<br>都市ガス: 42.9%削減<br>(97,231m <sup>3</sup> )<br>LPガス: 20.9%削減<br>(31,067kg) | 対16年度比<br>4.3%削減<br>(53,330ℓ)  | 対16年度比<br>軽油: 0.5%削減<br>(71,303ℓ)                                    |
| 大阪狭山市 | 目標                 | 26 | 対21年度比温室効果ガス排出量<br>5%削減                                  | 対21年度比<br>5%削減                       | 対21年度比<br>5%削減                 | 対21年度比<br>5%削減  | 対21年度比<br>5%削減                 | 軽油、A重油、CNG<br>対21年度比<br>5%削減   |
|       | 実績                 | 21 | (基準年)<br>4,556t-CO <sub>2</sub>                          | (基準年)<br>10,084,613kWh               | (基準年)<br>67,330ℓ               | (基準年)<br>都市ガス: 255,266m <sup>3</sup><br>LPG: 4691.5kg                             | (基準年)<br>35,076ℓ               | (基準年)<br>軽油: 18,356.3ℓ<br>A重油: 25,250ℓ<br>CNG: 3,125.9m <sup>3</sup> |
| 阪南市   | 目標                 | 22 | 対17年度比温室効果ガス排出量<br>5%削減<br>(5040t-CO <sub>2</sub> )      | 対17年度比<br>5%削減<br>(9,291,928kwh)     | 対17年度比<br>5%削減<br>(283,112ℓ)   | 対17年度比<br>5%削減<br>(プロパン: 27,688kg)<br>(都市ガス: 633m <sup>3</sup> )                  | 対17年度比<br>5%削減<br>(35,033ℓ)    | 対17年度比<br>5%削減<br>(軽油: 59,122ℓ)<br>(A重油: 135,185ℓ)                   |
|       | 実績                 | 21 | 4,168t-CO <sub>2</sub>                                   | 8,113,558kwh                         | 170,235ℓ                       | プロパン: 17,100kg<br>都市ガス: 485m <sup>3</sup>   | 35,256ℓ                        | 軽油: 52,513ℓ<br>A重油: 118,400ℓ   |
| 島本町   | 目標                 | 23 | 対12年度比<br>温室効果ガス<br>排出量6%削減                              | —                                    | —                              | —   | —                              | —  |
|       | 実績                 | 21 | 22.8%減<br>(8,149,372kg-CO <sub>2</sub> )                 | 10,235,210kWh                        | 0ℓ                             | 都市ガス78,107m <sup>3</sup><br>LPガス7,656kg   | 14,056ℓ                        | —  |
| 豊能町   | 目標                 | 23 | 対17年度比<br>温室効果ガス<br>排出量5%削減<br>(3,482t-CO <sub>2</sub> ) | 対17年度比5%<br>削減<br>(5,085,695kwh)     | 対17年度比<br>5%削減<br>(23,725ℓ)    | 対17年度比5%削減<br>(プロパン: 18,156<br>m <sup>3</sup> )<br>(都市ガス: 133,810L)               | 対17年度比<br>5%削減<br>(47,547ℓ)    | —  |
|       | 実績                 | 21 | 3,141t-CO <sub>2</sub>                                   | 4,731,420kwh                         | 15,297ℓ                        | LPG: 30,532kg<br>都市ガス: 92,254L  | 41,824ℓ                        | —  |

|   |   |  | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況   | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考  |
|---|---|--|--|---|---|
| コピー用紙使用量                                | 水道使用量   | 再資源化                                       |  |   |   |
| —                                       | —   | —  | 水道局庁舎<br>(H16.2)   | 東大阪市<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H19.7策定)  | 【庁内ごみの分別種類】<br>PPC用紙、機密文書、新聞・<br>雑誌、ダンボール、かん・び<br>ん、ペットボトル、その他プ<br>ラスチック製容器包装、もえる<br>ごみ、雑紙  |
| —                                       | —   | —  | 本庁舎<br>(H18.3)<br>H23.4より独自<br>システムに移<br>行   |   |   |
| 1974470枚                                | 169655m <sup>3</sup>                          |  | 予定なし   |   |   |
| 2100500枚                                | 180485m <sup>3</sup>                          |  |  |   |   |
| ※対16年度比概<br>ね5%削減<br>(12,573,075枚)      | 対16年度比概ね<br>5%削減<br>(134,767m <sup>3</sup> )  | 可燃ごみ<br>対16年度比概ね<br>5%削減<br>(124,144kg)    | H18.4取得<br>※H21.4より<br>独自のシス<br>テム運用   | 第2次四條畷市地球温暖化<br>対策<br>実行計画(H23.4策定)<br>四條畷市環境基本計画<br>(H19.6策定)                          | ※用紙使用量には、コピー<br>用紙のほか、定期刊行物の<br>発行に伴う用紙使用量を含<br>む<br>※ローカルアジェンダ21は策<br>定予定は無し               |
| 18,755,062枚<br>41.7%増                   | 118,327m <sup>3</sup><br>16.6%減               | 95,001kg<br>27.3%減                         |  |   |   |
| 削減する                                    | 対16年度比<br>5%削減                                | 分別及びリサイ<br>クルの向上を図<br>り、廃棄物の減<br>量に努める     | 平成19年6月<br>よりLAS-Eに<br>沿ったEMSを<br>導入し、運用<br>している   | 第2期交野市<br>エコオフィス率先行動計画<br>(H17.3策定)   | H22年度10月より環境基本<br>計画を策定中  |
| —                                       | 対16年度比<br>30.7%削減<br>(180,169m <sup>3</sup> ) | —  |  |   |   |
| 対21年度比<br>5%削減                          | 対21年度比<br>5%削減                                | 公共工事における<br>リサイクル資材使<br>用率(件数ベース)<br>70%以上 | EA21認証取得<br>(本庁舎・消防<br>庁舎)H21.03<br>(保健セン<br>ター)H23.3                                    | 地球温暖化対策実行計画<br>「エコプランおおさかさやま」<br>(H13.3策定)<br>大阪狭山市地球温暖化対策<br>実行計画(事務事業編)<br>(H22.12策定) | コピー用紙、水道使用量、再<br>資源化の取組結果計測及び<br>評価の対象はEA21の認証<br>取得施設に限る<br>※EA21対象施設のみ                    |
| (基準年)※<br>3,132,072枚                    | (基準年)※<br>7,551m <sup>3</sup>                 | —  |  |   |   |
| 対17年度比<br>5%削減<br>*A4換算<br>(5,312,866枚) | 対17年度比<br>5%削減<br>(155,950m <sup>3</sup> )    | —  | 予定なし   | 第2次阪南市<br>地球温暖化対策<br>推進実行計画<br>(地球大好き市役所づくり)<br>(H18.4策定)                               | 【庁内ごみの分別種類】<br>可燃ごみ、カン、ビン、ペット<br>ボトル、プラスチック類、新<br>聞、ダンボール、電池、粗大<br>ごみ                       |
| 4,823,750枚                              | 111,319m <sup>3</sup>                         | —  |  |   |   |
| —                                       | —   | —  | *本庁舎<br>(H16.6)取得<br>済<br>*消防本部庁<br>舎、上下水道<br>庁舎、ふれあ<br>いセンター、清<br>掃工場<br>(H20.6)取得<br>済 | 島本町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H14.3策定)<br>第二期島本町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H19.3策定)                   | *目標・実績は第二期島本<br>町地球温暖化対策実行計画<br>より<br>【庁内ごみの分別種類】<br>可燃ごみ、不燃ゴミ、ビン、カ<br>ン、ペットボトル、紙、ダン<br>ボール |
| —                                       | —   | —  | —  |   |   |
| —                                       | —   | —  | 予定なし   | 第2次豊能町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H19.4策定)  |   |
| —                                       | —   | —  |  |   |   |

| 市町村名  | 環境管理計画等の主要な目標値及び実績 |    |   |  |   |  |                                    |  |
|-------|--------------------|----|---|--|---|--|------------------------------------|--|
|       |                    | 年度 | 温室効果ガス排出削減目標  | 電気使用量                                  | 灯油使用量                                       | ガス使用量  | ガソリン使用量                            | その他  |
| 能勢町   | 目標                 |    |   |  |   |  |                                    |  |
|       | 実績                 |    |   |  |   |  | 未設定                                |  |
| 忠岡町   | 目標                 | 24 | 対18年度<br>2%削減<br>(9,346t-CO <sub>2</sub> )            | 対18年度<br>1%削減<br>(6,370,886kwh)        | 対18年度<br>1%削減<br>(24,322ℓ)                  | 対18年度<br>1%削減<br>(LPG:8,233L<br>都市ガス:194,282m <sup>3</sup> )             | 対18年度<br>8%削減<br>(13,455ℓ)         | 対18年度<br>1%削減<br>(軽油:2,554ℓ<br>A重油:17,758ℓ)              |
|       | 実績                 | 20 | 対18年度比<br>26%削減<br>(6,932t-CO <sub>2</sub> )          | 対18年度比<br>2%削減<br>(6,247,157kwh)       | 対18年度比<br>56%削減<br>(10,775ℓ)                | 対18年度比<br>LPG:0%削減<br>(8,259kg)<br>都市ガス:84%削減<br>(30,381m <sup>3</sup> ) | 対18年度比<br>12%削減<br>(11,778ℓ)       | 対18年度比<br>軽油:23%削減<br>(1,955ℓ)<br>A重油:16%削減<br>(14,916ℓ) |
| 熊取町   | 目標                 | 23 | 対17年度比<br>4.2%削減<br>(7,502,127kg-CO <sub>2</sub> )    | 対17年度比<br>4.5%削減<br>(10,620,812kwh)    | 灯油・ガス・A重油<br>対17年度比3.2%削減<br>(20,241,107MJ) |  | 対17年度比<br>4.3%削減<br>(33,583ℓ)      | 軽油<br>対17年度比4.3%<br>削減(16,069ℓ)                          |
|       | 実績                 | 21 | 6,924,131kg-CO <sub>2</sub><br>(基準(H17)年度<br>比△11.6%) | 9,924,537kwh<br>(基準(H17)年度<br>比△10.8%) | 18,152,187.6MJ<br>(基準(H17)年度<br>比△13.2%)    |  | 33,844.1ℓ<br>(基準(H17)年度<br>比△3.6%) | 5,770.0ℓ<br>(基準(H17)年度<br>比△65.6%)                       |
| 田尻町   | 目標                 | 18 | 対12年度比<br>6%削減<br>(1,413t-CO <sub>2</sub> )           | 対12年度比<br>6%削減<br>(2,683,449kwh)       | 対12年度比<br>6%削減<br>(13,677ℓ)                 | 対12年度比<br>6%削減<br>(プロパン:457kg)<br>(都市ガス:<br>160,949m <sup>3</sup> )      | 対12年度比<br>6%削減<br>(12,699ℓ)        | 対12年度比<br>6%削減<br>(軽油:5,636ℓ<br>A重油:5,170ℓ)              |
|       | 実績                 | 12 | 1,503t-CO <sub>2</sub>                                | 2,854,733kwh                           | 14,550ℓ                                     | プロパン:486kg<br>都市ガス:<br>171,222m <sup>3</sup>                             | 13,510ℓ                            | 軽油:5,996ℓ<br>A重油:5,500ℓ                                  |
| 岬町    | 目標                 |    |   |  |   |  |                                    |  |
|       | 実績                 |    |   |  |   |  | 未設定                                |  |
| 太子町   | 目標                 |    |   |  |   |  |                                    |  |
|       | 実績                 | 22 |   | 598,000kwh                             |   |  | 9,400ℓ                             | 軽油:2,360ℓ<br>混合油:24ℓ                                     |
| 河南町   | 目標                 | 22 | 対17年度比<br>5%削減<br>(3,071,602kg-CO <sub>2</sub> )      |  |   |  |                                    |  |
|       | 実績                 | 21 | 対17年度比<br>9.7%削減<br>(2,918,183kg-CO <sub>2</sub> )    | 4,395,530KWh                           | 149,074ℓ                                    | LPG7,623kg+<br>天然ガス720Nm <sup>3</sup>                                    | 18,621ℓ+軽油<br>15,941ℓ              |  |
| 千早赤阪村 | 目標                 |    |   |  |   |  |                                    |  |
|       | 実績                 | 17 |   | 227,029kwh                             | 1,112ℓ                                      | 1.9m <sup>3</sup>  | 4,130ℓ                             | 1,833ℓ(軽油)   |

|                                |                      |                            | 環境マネジメントシステム<br>認証取得状況 | 環境管理に関する<br>計画等   | 備<br>考   |
|--------------------------------|----------------------|----------------------------|------------------------|---|--|
| コピー用紙使用量                       | 水道使用量                | 再資源化                       |                        |   |  |
|                                |                      |                            | 予定なし                   | 能勢町環境基本計画<br>(H14.3策定)  |  |
| —                              | —                    | —                          | 予定なし                   | 第2次忠岡町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(平成19年度策定)   | 基準年度<br>(平成18年度)<br>実行年度<br>(平成20年4月～平成24年3<br>月)                              |
| —                              | —                    | —                          | 予定なし                   | 第2期熊取町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H19.3策定)<br>基準年度:H17年度<br>実行年度:H19年度～H23年度                            | ■庁内ゴミの分別■<br>①可燃ごみ ②びん類 ③紙<br>類 ④衣類 ⑤かん類 ⑥<br>ペットボトル ⑦プラスチック製容器<br>包装 ⑧粗大・不燃ごみ |
| 抑制に努める                         | 抑制に努める               | ごみの分別を徹<br>底し、排出抑制<br>に努める | 予定なし                   |   |  |
| 抑制に努める                         | 抑制に努める               | ごみの分別を徹<br>底し、排出抑制<br>に努める | 予定なし                   |   |  |
| 対12年度比<br>6%削減<br>(1,799,630枚) | 水の適正利用<br>の推進        | 公共工事におけ<br>る環境配慮の促<br>進    | 予定なし                   | 田尻町<br>地球温暖化対策実行計画<br>(H14.3策定)   | 【町内ごみの分別種類】<br>3種12品目  |
| 1,914,500枚                     | —                    | —                          |                        |   |  |
|                                |                      |                            | 予定なし                   | 岬町<br>地球温暖化防止対策<br>実行計画<br>(H15.3策定)<br>分別:可燃ごみ、資源ごみ<br>(紙類・古着類、ペットボ<br>トル、プラごみ、空缶・空瓶)、<br>不燃ごみ |  |
|                                |                      |                            | 予定なし                   |   | 本庁舎分のみ   |
| 1,036,000枚                     | 2,200m <sup>3</sup>  |                            |                        |   |  |
|                                |                      |                            | EA21 認証<br>済(H20.5.2)  | 平成18年度末に河南町地<br>球温暖化対策実行計画を策<br>定   |  |
| 12,634kg                       | 69,439m <sup>3</sup> |                            |                        |   |  |
|                                |                      |                            | 予定なし                   |   | 本庁舎分のみ   |
| 810,000枚                       | 1,230m <sup>3</sup>  |                            |                        |   |  |

# 豊かな環境づくり大阪府民会議規約

(名称)

**第1条** この会議は、豊かな環境づくり大阪府民会議(以下「府民会議」という。)と称する。

(目的)

**第2条** 府民会議は、府、市町村、事業者、府民及び民間団体等の協働により、豊かな環境の保全と創造に関する施策を積極的に推進することを目的とする。

(事業)

**第3条** 府民会議は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1)大阪府環境基本条例第7条に規定する豊かな環境の保全と創造に資する啓発活動等の事業を企画し推進すること。
- (2)大阪府環境基本条例第20条に規定する地球環境保全に資する行動指針を策定し、地球環境保全に関する実践行動を企画し推進すること。

(構成)

**第4条** 府民会議は、府、市町村、事業者・府民の団体等及び学識経験者をもって構成する。

2 府民会議に入会しようとするもの(学識経験者を除く。)は、府民会議総会の承認を得なければならない。

(会長)

**第5条** 府民会議の会長は、大阪府環境政策監とし、府民会議を代表する。

(議長)

**第6条** 府民会議に議長を置き、府民会議を構成する学識経験者の委員の中から府民会議総会において選出する。

2 議長は、府民会議総会を招集し、これを運営する。

3 議長が不在のときは、議長があらかじめ指名する副議長がその職務を代理する。

(総会)

**第7条** 府民会議総会は、府、市町村、事業者・府民の団体等において選任された者及び学識経験を委員として組織する。

2 学識経験者の委員は、会長が指名する。

3 学識経験者の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(企画委員会)

**第8条** 府民会議の事業の企画立案等を行うため、府民会議に企画委員会を置く。

2 企画委員会の委員長及び委員は、議長が指名する。

(事務局)

**第9条** 府民会議の事務局を大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課内に置く。

(雑則)

**第10条** この規約に定めるもののほか、府民会議に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

この規約は、平成6年11月10日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年1月20日から施行する。

附 則

この規約は、平成10年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成12年1月31日から施行する。

附 則

この規約は、平成14年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この規約は、平成22年6月29日から施行する。

## 豊かな環境づくり大阪府民会議 委員名簿

平成23年6月末現在

★印は企画委員会委員

### 【行政】

(5名)

|     |              |           |       |
|-----|--------------|-----------|-------|
| 会 長 | 大阪府          | 環境政策監     | 大江 桂子 |
|     | 大阪市          | 環境局環境施策部長 | 松本 高秋 |
|     | 堺市           | 環境局環境保全部長 | 真瀬 和則 |
|     | 泉南市(市長会会長市)  | 市民生活環境部長  | 山野 豊  |
|     | 能勢町(町村長会会長町) | 環境創造部長    | 森村 保  |

### 【学識経験者】

(8名)

|                |                         |        |
|----------------|-------------------------|--------|
| 議 長            | (財)地球環境戦略研究機関関西研究センター所長 | 鈴木 胖   |
| 副議長<br>(企画委員長) | (株)都市生活研究所代表取締役         | 篠崎由紀子★ |
|                | 大阪大学大学院工学研究科教授          | 澤木 昌典★ |
|                | 大阪産業大学大学院工学研究科教授        | 尾崎 博明★ |
|                | 大阪府立大学大学院理学系研究科教授       | 谷田 一三★ |
|                | サントリー(株)大阪秘書室課長         | 狭間恵三子★ |
|                | 大阪産業大学大学院人間環境学研究科教授     | 花田真理子★ |
|                | 大阪教育大学教育学部准教授           | 石川 聡子★ |

### 【府民団体】

(13名)

|                         |                           |        |
|-------------------------|---------------------------|--------|
| (社)大阪エイフボランティアネットワーク    | 副会長                       | 金谷美津子  |
| (財)大阪府こども会育成連合会         | 常務理事                      | 小川 佳映  |
| 大阪府生活協同組合連合会            | 事務局長                      | 小山 正人★ |
| 大阪府青年団協議会               | 特命事務局長                    | 谷村 彰紀  |
| (社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部     | 副支部長                      | 新家 庸子★ |
| 国際ソロプチミスト大阪             | 環境奉仕委員                    | 角 敏子   |
| 国際ロータリー第2660地区          | 社会奉仕委員会・<br>環境保全担当チームリーダー | 横田 聡★  |
| なにわの消費者団体連絡会            | 事務局長                      | 岡本 孝子★ |
| (社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会 | 副会長                       | 三代 勝士  |
| 日本ボーイスカウト大阪連盟           | 事務局長                      | 加納 力   |
| 日本野鳥の会大阪支部              | 支部長                       | 橋本 正弘★ |
| 日本労働組合総連合会大阪府連合会        | 副事務局長                     | 田中 宏和  |
| ライオンズクラブ国際協会 335-B 地区   | 環境保全委員長                   | 東 進明   |

【事業者団体】

(9名)

|                 |              |        |
|-----------------|--------------|--------|
| (社)関西経済連合会      | 理事           | 藤原 幸則★ |
| (社)関西経済同友会      | 事務局次長兼企画調査部長 | 松尾 康弘  |
| 大阪商工会議所         | 経済産業部長       | 中川 正隆  |
| (社)大阪府工業協会      | 専務理事         | 中村 尚司  |
| 大阪府中小企業団体中央会    | 事務局長         | 山野 義雄★ |
| 大阪百貨店協会         | 事務局長         | 平松康一郎  |
| 日本チェーンストア協会関西支部 | 参与           | 宮川 精慈★ |
| 大阪府小売市場総連合会     | 会長           | 森本 純二  |
| 大阪府商店街連合会       | 事務局長         | 満園 賢司  |

【関連団体等】

(6名)

|                    |                     |        |
|--------------------|---------------------|--------|
| 地球環境関西フォーラム        | 事務総長                | 加藤 久佳★ |
| (財)大阪みどりのトラスト協会    | 常務理事兼事務局長           | 平田 通文  |
| 大阪府地球温暖化防止活動推進センター | 事務局長                | 葉山 幸雄★ |
| 大阪府リサイクル社会推進会議     | 代表幹事・循環型社会推進室資源循環課長 | 磯田 浩★  |
| 大阪自動車環境対策推進会議      | 事務局・環境管理室交通環境課長     | 山田 桂三  |
| 大阪美しい景観づくり推進会議     | 事務局・建築指導室建築企画課長     | 藤井 重保  |

豊かな環境づくり大阪府民会議構成団体の連絡先（平成23年6月末現在）

【府民団体 13】

| 団体名                      | 委員名             | 所在地  | 連絡先                                    |
|--------------------------|-----------------|--|--|
| (社)大阪エイフボランティアネットワーク     | 副会長<br>金谷美津子    | 〒536-0016<br>大阪市城東区蒲生2-10-28<br>大阪府城東庁舎内           | TEL 06-6933-8166<br>FAX 06-6933-8167   |
| (財)大阪府子ども会育成連合会          | 常務理事<br>小川 佳映   | 〒556-0021<br>大阪市浪速区幸町2-7-3<br>りそな・アルテ桜川ビル2階        | TEL 06-6561-0051<br>FAX 06-6561-0053   |
| 大阪府生活協同組合連合会             | 事務局長<br>小山 正人   | 〒542-0012<br>大阪市中央区谷町7-4-15<br>大阪府社会福祉会館内          | TEL 06-6762-7220<br>FAX 06-6762-7296   |
| 大阪府青年団協議会                | 特命事務局長<br>谷村 彰紀 | —  | —                                      |
| (社)ガールスカウト日本連盟大阪府支部      | 副支部長<br>新家 庸子   | 〒556-0017<br>大阪市浪速区湊町1-4-1<br>OCATビル 4階            | TEL 06-6648-5757<br>FAX 06-6648-5858   |
| 国際ソロプチミスト大阪              | 環境奉仕委員<br>角 敏子  | 〒530-0005<br>大阪市北区中之島5-3-68<br>リガロパルビル403号室        | TEL 06-6448-1121<br>(内) 3880           |
| 国際ロータリー第2660地区           | 社会奉仕委員<br>横田 聡  | 〒541-0052<br>大阪市中央区安土町1-5-11<br>トヤマビル東館6階          | TEL 06-6264-2660<br>FAX 06-6264-2661   |
| なにわの消費者団体連絡会             | 事務局長<br>岡本 孝子   | 〒542-0012<br>大阪市中央区谷町7-4-15<br>大阪府社会福祉会館内          | TEL 06-6762-7220<br>FAX 06-6762-7296   |
| (公社)日本青年会議所近畿地区大阪ブロック協議会 | 副会長<br>三代 勝士    | 〒559-0034<br>大阪市住之江区<br>南港北1-13-65<br>南港コスモプラザビル4階 | TEL: 06-6613-0053<br>FAX: 06-6613-0063 |
| 日本ボーイスカウト大阪連盟            | 事務局長<br>加納 力    | 〒540-0006<br>大阪市中央区法円坂1-1-35<br>アネックスパル法円坂4階       | TEL 06-6943-0043<br>FAX 06-6944-1573   |
| 日本野鳥の会大阪支部               | 支部長<br>橋本 正弘    | 〒543-0011<br>大阪市天王寺区清水谷町6-16<br>NEXT21 1階          | TEL 06-6766-0055<br>FAX 06-6766-0056   |
| 日本労働組合総連合会大阪府連合会         | 副事務局長<br>田中 宏和  | 〒540-0029<br>大阪市中央区北浜東3-14<br>府立労働センター11階          | TEL 06-6949-1105<br>FAX 06-6944-0055   |
| ライオンズクラブ国際協会335-B地区      | 環境保全委員長<br>東 進明 | 〒541-0048<br>大阪市中央区瓦町4-4-8<br>レイト本町ビル2階            | TEL 06-6222-7331<br>FAX 06-6222-7336   |



## 【事業者団体 9】

| 団体名                 | 委員名                       | 所在地   | 連絡先                                  |
|---------------------|---------------------------|---|--------------------------------------|
| (公社) 関西経済連合会        | 理事<br>藤原 幸則               | 〒530-6691<br>大阪市北区中之島6-2-27<br>中之島センタービル30階 | TEL 06-6441-0102<br>FAX 06-6441-0443 |
| (社) 関西経済同友会         | 事務局次長<br>兼企画調査部長<br>松尾 康弘 | 〒530-6691<br>大阪市北区中之島6-2-27<br>中之島センタービル28階 | TEL 06-6441-1031<br>FAX 06-6441-1030 |
| 大阪商工会議所             | 経済産業部長<br>中川 正隆           | 〒540-0029<br>大阪市中央区本町橋2-8                   | TEL 06-6994-6486<br>FAX 06-6944-6249 |
| (社) 大阪府工業協会         | 専務理事<br>中村 尚司             | 〒541-0054<br>大阪市中央区南本町4-3-6<br>大阪商工会館5階     | TEL 06-6251-1138<br>FAX 06-6245-9926 |
| 大阪府中小企業団体中央会        | 事務局長<br>山野 義雄             | 〒540-0029<br>大阪市中央区本町橋2-5<br>マイドームおおさか6階    | TEL 06-6947-4370<br>FAX 06-6947-4374 |
| 大阪百貨店協会             | 事務局長<br>平松 康一郎            | 〒542-0083<br>大阪市中央区南船場4-4-10<br>辰野ビル3階      | TEL 06-6243-0081<br>FAX 06-6243-0083 |
| 日本チェーンストア協会<br>関西支部 | 参与<br>宮川 精慈               | 〒557-0015<br>大阪市西成区花園南1-4-4<br>イズミヤ(株)内     | TEL 06-6657-3455<br>FAX 06-6657-3398 |
| 大阪府小売市場総連合会         | 会長<br>森本 純二               | 〒540-0029<br>大阪市中央区本町橋2-5<br>マイドームおおさか6階    | TEL 06-6947-4335<br>FAX 06-6947-4338 |
| 大阪府商店街連合会           | 事務局長<br>満園 賢司             | 〒540-0029<br>大阪市中央区本町橋2-5<br>マイドームおおさか6階    | TEL 06-6947-4334<br>FAX 06-6947-4338 |

## 【関連団体 6】

| 団体名                | 委員名                    | 所在地  | 連絡先                                  |
|--------------------|------------------------|--|--------------------------------------|
| 地球環境関西フォーラム        | 事務総長<br>加藤 久佳          | 〒530-6691<br>大阪市北区中之島6-2-27<br>中之島センタービル23階            | TEL 06-6444-0550<br>FAX 06-6444-0611 |
| (財) 大阪みどりのトラスト協会   | 常務理事<br>兼事務局長<br>平田 通文 | 〒541-0054<br>大阪市中央区南本町2-1-8<br>創建本町ビル4階                | TEL 06-6263-5480<br>FAX 06-6263-5433 |
| 大阪府地球温暖化防止活動推進センター | 事務局長<br>葉山 幸雄          | 〒541-0054<br>大阪市中央区南本町2-1-8<br>(財) 大阪府みどり公社内           | TEL 06-6266-1271<br>FAX 06-6266-8665 |
| 大阪府リサイクル社会推進会議     | 代表幹事：資源循環課長<br>磯田 浩    | 〒559-8555<br>大阪市住之江区南港北1-14-16<br>大阪府咲洲庁舎21階<br>交通環境課内 | TEL 06-6210-9566<br>FAX 06-6210-9561 |
| 大阪府自動車環境対策推進会議     | 事務局：交通環境課長<br>山田 桂三    | 〒559-8555<br>大阪市住之江区南港北1-14-16<br>大阪府咲洲庁舎21階<br>交通環境課内 | TEL 06-6210-9586<br>FAX 06-6210-9575 |
| 大阪美しい景観づくり推進会議     | 事務局：建築企画課長<br>藤井 重保    | 〒559-8555<br>大阪市住之江区南港北1-14-16<br>大阪府咲洲庁舎27階<br>建築企画課内 | TEL 06-6210-9718<br>FAX 06-6210-9714 |



## 豊かな環境づくり大阪府民会議の活動経過

|             |  |
|-------------|--|
| 平成 6年11月10日 | 豊かな環境づくり大阪府民会議 設立総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府民会議の規約の制定、議長の選出等</li> <li>・ 環境基本条例第20条に規定する「地球環境保全行動指針」の策定に取り組むことを決定</li> </ul>   |
| 平成 7年 2月 3日 | 第2回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針（素案）」の検討</li> </ul>  |
| 平成 7年 5月23日 | 第3回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針」の最終案について</li> <li>・ 府民会議の行動計画の策定に取り組むことを決定</li> </ul>   |
| 平成 7年 6月 5日 | “地球環境を守ろう”府民の集い<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「地球環境保全行動指針」の策定</li> </ul>   |
| 平成 7年11月 6日 | 第4回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画（仮称）」骨子について検討</li> </ul>   |
| 平成 8年 3月 1日 | 府民会議情報誌“かんきょう夢ひろば”創刊   |
| 平成 8年 6月 5日 | 第5回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪行動計画」の策定</li> </ul>  |
| 平成 8年12月17日 | 平成8年度大阪府ローカルアジェンダ21推進活動奨励事業の実施   |
| 平成 9年 3月28日 | 第6回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」実施要領を決定</li> <li>・ インターネットによる「かんきょう交流ルーム」の開設について決定</li> <li>・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」構成案を決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催を決定</li> </ul>      |
| 平成 9年6月5日   | 「かんきょう交流ルーム」開設   |
| 平成 9年 6月24日 | 第7回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> <li>・ 「平成9年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> </ul>   |
| 平成 9年 7月24日 | 豊かな環境づくり大阪府民の集い<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者表彰式</li> <li>・ かんきょう講演会</li> </ul>   |
| 平成10年 1月20日 | 第8回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり府民シンポジウム（仮称）」の開催の決定</li> <li>・ 行動の支援事業の拡充等の決定</li> <li>・ 府民会議の入会規定の決定と国際ロータリー第2660地区の入会の決定</li> </ul> |
| 平成10年 5月 7日 | 第9回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成10年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>  |
| 平成10年 6月 5日 | 豊かな環境づくり大阪府民の集い<br>第1部・「おおさか環境賞」受賞者表彰式<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境にやさしい暮らしのアドバイス</li> <li>・ かんきょう講演会</li> </ul> 第2部・炸裂！和太鼓<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 爆笑！えころじ～寄席</li> </ul>        |

|             |   |
|-------------|---|
| 平成11年 1月19日 | <p>第10回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「豊かな環境づくり大阪府民の集い」の開催の決定</li> <li>・ 「グリーン購入啓発キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 行動の支援事業の拡充等の決定</li> </ul> |
| 平成11年 6月 7日 | <p>第11回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成11年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>  |
| 平成11年 6月24日 | <p>豊かな環境づくり大阪府民の集い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ グリーンコンシューマー入門講座<br/>～買物からライフスタイルを変える～</li> <li>・ 環境にやさしい商品の展示会</li> </ul>   |
| 平成11年10月    | グリーン購入キャンペーンの実施   |
| 平成12年 1月31日 | <p>第12回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「グリーンコンシューマーガイドブック（仮称）作成事業」の実施の決定</li> </ul>                   |
| 平成12年 6月 8日 | <p>第13回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成12年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> <li>・ ライオンズクラブ国際協会 335 - B 地区の入会の決定</li> </ul>                                   |
| 平成12年 6月24日 | <p>グリーン購入が社会を変える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「食から環境を考えるーリサイクル料理ー」</li> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ シンポジウム「グリーン購入が社会を変える」</li> </ul>  |
| 平成12年10月    | グリーン購入キャンペーンの実施   |
| 平成13年 1月30日 | <p>第14回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定</li> </ul>                             |
| 平成13年 5月29日 | <p>第15回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成13年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成13年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>   |
| 平成13年 6月 6日 | <p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「感じとることの大切さ」</li> </ul>  |
| 平成13年10月    | グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施  |
| 平成14年 1月18日 | <p>第16回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定</li> </ul>                      |
| 平成14年 5月28日 | <p>第17回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成14年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成14年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>   |
| 平成14年 6月11日 | <p>「環境を考える府民のつどい」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おおさか環境賞」表彰式・受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄付者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「大阪の水、世界の水ー第3回世界水フォーラムの役割」</li> </ul>  |

|             |  |
|-------------|--|
| 平成14年10月    | グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施   |
| 平成15年 1月21日 | 第18回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>   |
| 平成15年 5月19日 | 第19回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成15年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成15年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>  |
| 平成15年 6月15日 | 環境を考える府民のつどい<br>～おおさか環境賞表彰式・グリーン購入シンポジウム～<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ グリーン購入シンポジウム<br/> 基調講演「私のグリーン購入」<br/> グリーン購入について(解説)<br/> パネルディスカッション「グリーン購入が創る持続可能な社会」等</li> <li>・ 環境配慮型商品等展示会</li> </ul> |
| 平成15年10月    | グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施   |
| 平成16年 2月10日 | 第20回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>   |
| 平成16年 6月 1日 | 第21回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成16年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成16年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞」受賞者を決定</li> </ul>  |
| 平成16年 6月25日 | 環境を考える府民のつどい<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「環境にやさしいライフスタイルとふるしきの活用」</li> </ul>   |
| 平成16年10月    | グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施   |
| 平成17年 1月31日 | 第22回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 「グリーン購入／NO!!包装キャンペーン（仮称）」の実施の決定</li> <li>・ 「環境を考える府民のつどい（仮称）」開催の決定 等</li> </ul>   |
| 平成17年5月31日  | 第23回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成17年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成17年度府民会議事業の決定</li> <li>・ 「おおさか環境賞実施要領」改正の決定 等</li> </ul>   |
| 平成17年6月18日  | 環境を考える府民のつどい<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 講演「わたしのスローライフ」</li> <li>・ 取組報告「企業の立場で進めるエコライフについて」他、意見交換等</li> </ul>  |
| 平成17年6月20日  | 環境を考える府民のつどい<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 講演「私と自転車と地球のいい関係」、演奏会</li> </ul>  |
| 平成17年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施  |
| 平成18年2月8日   | 第24回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成18年度府民会議事業（案）について</li> </ul>  |
| 平成18年6月6日   | 第25回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成18年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成18年度府民会議事業の決定</li> </ul>   |

|             |  |
|-------------|--|
| 平成18年6月27日  | <p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 環境保全活動の取組み報告</li> <li>・ 講演「企業の環境問題への取組みに貢献するエコファンドについて」</li> <li>・ 講演「地域に密着した環境銀行の取組み」</li> </ul> |
| 平成18年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーン グリーン購入／NO!!包装キャンペーンの実施  |
| 平成19年2月6日   | <p>第26回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成19年度府民会議事業（案）について</li> </ul>  |
| 平成19年6月7日   | <p>第27回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成19年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成19年度府民会議事業の決定</li> </ul>   |
| 平成19年6月26日  | <p>環境を考える府民のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おおさか環境賞表彰式、受賞者活動事例発表</li> <li>・ 大阪府環境保全基金寄附者感謝状贈呈式</li> <li>・ 環境活動提案公募型補助金事業、環境教育推進モデル地域事業の取組み報告</li> <li>・ 講演「NPO等におけるマネジメントについて」</li> </ul>                   |
| 平成19年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーン ～グリーン購入／NO!!包装キャンペーン～の実施  |
| 平成20年1月24日  | <p>第28回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成20年度府民会議事業（案）について</li> </ul>  |
| 平成20年9月8日   | <p>第29回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成20年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成20年度府民会議事業の決定</li> </ul>   |
| 平成20年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施  |
| 平成21年2月10日  | <p>第30回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豊かな環境づくり大阪府民会議の運営（案）について</li> <li>・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成21年度府民会議事業（案）について</li> </ul>  |
| 平成21年6月17日  | <p>第31回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成21年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 平成21年度府民会議事業の決定</li> </ul>   |
| 平成21年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施  |
| 平成22年1月20日  | <p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「“グリーン購入”に人類の未来がある」</li> <li>・ 事例発表 阪急阪神ホールディングス(株) 他</li> </ul>  |
| 平成22年2月8日   | <p>第32回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成22年度府民会議事業の決定</li> </ul>  |
| 平成22年6月29日  | <p>第33回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 府民会議規約の一部改正</li> <li>・ 「平成22年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「環境壁紙コレクション事業」について</li> </ul>   |
| 平成22年10月    | 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施  |
| 平成22年12月14日 | <p>グリーン購入セミナー in 大阪 の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演「信念に基づいてグリーン購入し、低炭素革命を進めよう！」</li> <li>・ 事例発表 JAたじま（たじま農業協同組合） 他</li> </ul>  |

|            |  |
|------------|--|
| 平成23年2月8日  | <p>第34回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「環境壁紙コレクション」表彰作品の選定結果について</li> <li>・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画骨子」の決定</li> <li>・ 平成23年度府民会議事業の決定</li> </ul>                                     |
| 平成23年6月28日 | <p>第35回豊かな環境づくり大阪府民会議 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 節電の取組みについて</li> <li>・ 「平成23年度豊かな環境づくり大阪行動計画」策定</li> <li>・ 「おおさか節電チャレンジSHOP」事業について</li> <li>・ “かんきょう交流Room” 掲示板「エコ交流ボックス」の閉鎖について</li> </ul> |

豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページ

## かんきょう交流 Room

<http://www.pref.osaka.jp/chi kyukankyo/room/index.html>

かんきょう交流ルーム

検索

- “かんきょう交流R o o m” は、豊かな環境づくり大阪府民会議のホームページです。
- 「豊かな環境づくり大阪行動計画」のページでは、本冊子の内容に加えて、府民会議の構成団体が実施している実践活動についても詳しく紹介しています。
- また、普段の生活における“エコ度”をチェックできる「エコライフチェック」や、府民会議の電子広報誌「かんきょう夢ひろば」なども掲載しています。
- 是非、“かんきょう交流R o o m”をご覧ください、本冊子と併せてご活用ください。





豊かな環境づくり大阪府民会議 平成 23 年 6 月

事務局：大阪府環境農林水産部みどり・都市環境室地球環境課

〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16 大阪府咲洲庁舎 22 階

TEL 06(6210)9549 FAX 06(6210)9551